CTFID

VP-CFGSFT

BOSCH

ja ユーザーマニュアル

目次

1	**はじめに**	**4**
1.1	システム要件	4
1.2	互換デバイス	5
2	**CTFID のインストール**	**6**
3	**接続**	**10**
3.1	VP-USB Configuration Tool の接続	10
3.2	VP-RS2BLNX Configuration Tool の接続	11
3.3	AutoDome RS-232 への接続	13
3.4	CTFID アプリケーションへのアクセス	14
4	**Configuration Tool の使い方**	**17**
4.1	メインメニューのボタン	18
4.1.1	[Overview（概要）] ウインドウ	18
4.1.2	オフラインモードウインドウ	19
4.1.3	オンラインモードウインドウ	20
4.1.4	[Virtual Keyboard（仮想キーボード）] ウインドウ	20
4.1.5	[AUX コマンド] ダイアログボックス	22
4.1.6	[ログ] ウインドウ	23
4.2	中央ワークスペース	24
4.3	システムフィードバック	26
4.4	操作ボタンの列	27
5	**設定の指定**	**29**
5.1	設定のダウンロード	29
5.2	特定の設定変更のアップロード / ダウンロード	30
5.3	既存の設定ファイルの変更	31
5.4	すべての設定のデバイスへのアップロード	31
5.5	設定の移行	32
5.6	診断ログ情報のダウンロード	34
5.7	ファームウェアのデバイスへのアップロード	35
5.8	ファームウェアの VG4 シリーズ AutoDome へのアップロード	35
6	**設定ツリーのオプション**	**37**
7	**トラブルシューティング**	**52**
7.1	PC とデバイスを結ぶシステム接続の確認	52
7.2	デバイスエラー	52
7.3	バージョンの確認	53
8	**AUX キーボードコマンド**	**54**

1 はじめに

Configuration Tool for Imaging Devices（CTFID）は、次の 2 つのコンポーネントから構成されています。

- ソフトウェアアプリケーションを収録した 1 枚の CD-ROM
- Configuration Tool のハードウェア（VP-USB、コンピューターと画像装置を結ぶインターフェース）

1.1 システム要件

以下に、Configuration Tool for Imaging Devices ソフトウェアアプリケーションを実行するための最小システム要件を示します。

- PC オペレーティングプラットフォーム : Windows® 98 Second Edition、Windows® Millennium Edition、Windows® 2000、Windows XP®、または Windows® Vista
- プロセッサー：MMX 搭載 200MHz Pentium（または同等の互換プロセッサー）
- RAM メモリ：256MB（オペレーティングシステムにより異なります）
- ハードディスクの空き容量：50MB
- グラフィックス：1024 x 768、16 ビットカラー
- CD-ROM ドライブ（CD からソフトウェアをインストールする場合）
- 接続：空いている USB ポート 1 カ所（1.1 以上）
- シリアルインターフェース経由の接続

1.2 互換デバイス

CTFID では、双方向の通信方式である Bilinx テクノロジを採用しています。このテクノロジは、すべての最新の Bosch AutoDome、Dinion、Dinion^{XF}、Dinion 2X、FlexiDome、FlexiDome 2X、および UnityDome カメラの映像信号に組み込まれています。互換デバイスの一覧については、以下の表を参照してください。

互換デバイス		互換デバイス
AutoDome 25 倍デイナイト（5.2 + ）		VG4 300 シリーズ 18 倍カラー
AutoDome 18 倍デイナイト（5.2 + ）		VG4 200 シリーズ 36 倍デイナイト
AutoDome 18 倍カラー（5.2 + ）		VG4 200 シリーズ 26 倍デイナイト
AutoDome 18 倍モノクロ（5.2 + ）		VG4 200 シリーズ 18 倍デイナイト
AutoDome G3 ベーシック（5.2 + ）		VG4 200 シリーズ 18 倍カラー
AutoDome 26 倍（5.2 + ）		VG4 500 シリーズ固定デイナイト
AutoDome 26 倍デイナイト（5.2 + ）		VG4 500 シリーズ固定カラー
AutoDome 25 倍デイナイト（5.1）		VG4 300 シリーズ固定デイナイト
AutoDome 18 倍デイナイト（5.1）		VG4 300 シリーズ固定カラー
AutoDome 18 倍カラー（5.1）		VG4 200 シリーズ固定デイナイト
AutoDome 18 倍モノクロ（5.1）		VG4 200 シリーズ固定カラー
AutoDome G3 ベーシック（5.1）		AutoDome Easy II
Dinion XF LTC 0385		FlexiDome 2X VDN-498
Dinion XF LTC 0485		FlexiDome VF VDM-345 シリーズ
Dinion XF LTC 0510		FlexiDome XT VDM-355 シリーズ
Dinion XF LTC 0610		FlexiDome VF VDC-445 シリーズ
Dinion XF LTC 0495		FlexiDome XT VDC-455 シリーズ
Dinion XF LTC 0620		FlexiDome XF VDC-485 シリーズ
Dinion 2X LTC 0498		FlexiDome DN VDN-495 シリーズ
Dinion 2X LTC 0630		UnityDome DN VG4-162/VG4-164 シリーズ
Dinion LTC 0335		UnityDome DN VG4-152/VG4-154 シリーズ
Dinion LTC 0355		UnityDome XF VG4-161/VG4-163 シリーズ
Dinion LTC 0356		UnityDome XF VG4-151/VG4-153 シリーズ
Dinion LTC 0435		FlexiDome_2X
Dinion LTC 0455		HSPU UPH-2D10
VG4 500 シリーズ 36 倍デイナイト		HSPU UPH-2D10W
VG4 500 シリーズ 26 倍デイナイト		HSPU UPH-2D15
VG4 500 シリーズ 18 倍デイナイト		HSPU UPH-2D15W
VG4 500 シリーズ 18 倍カラー		HSPU UPH-3D10
VG4 300 シリーズ 36 倍デイナイト		HSPU UPH-3D10W
VG4 300 シリーズ 26 倍デイナイト		HSPU UPH-3D15
VG4 300 シリーズ 18 倍デイナイト		HSPU UPH-3D15W

注

シリアルインターフェース経由の BiCom で利用できるデバイスは、200、300、500 AutoDome シリーズのみです。

2 CTFID のインストール

この章では、Configuration Tool for Imaging Devices のソフトウェアをインストールする手順について説明します。互換デバイスに接続する前に、ソフトウェアをインストールしてください。

ソフトウェアのインストール

1. 付属の CD を CD ドライブに挿入します。InstallShield ウィザードが自動的に起動しない場合は、**[スタート]** ボタンをクリックして、**[ファイル名を指定して実行]**、**[参照]** の順にクリックし、CD を手動で開きます。**autorun.exe** ファイルを見つけて実行します。Configuration Tool for Imaging Devices では、[Install Configuration Tool （ Configuration Tool をインストール ）]、[User Guide （ ユーザーガイド ）]、[View the Readme file （ Readme ファイルを表示 ）]、[終了] のいずれかを選択するように指示されます。

Configuration Tool For Imaging Devices
Security Systems
Using Bilinx™ technology
© Bosch Security Systems, Inc.
This program is protected by US and international copyright laws.
BOSCH

図 2.1 Configuration Tool のインストール

2. ファームウェアをインストールするには、**[Install Configuration Tool （ Configuration Tool をインストール ）]** をクリックします。
3. Configuration Tool for Imaging Devices の InstallShield ウィザードでは、自動的にプロンプトが表示され、[チェコ語]、[オランダ語]、[英語]、[フランス語 （ 標準 ）]、[ドイツ語]、[イタリア語]、[ポーランド語]、[ポルトガル語 （ 標準 ）]、[ロシア語]、[スペイン語] のいずれかを選択するように指示されます。

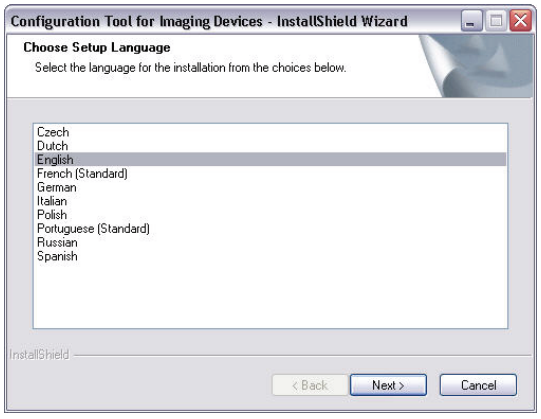


図 2.2 セットアップ言語の選択

4. 言語を選択して、**[次へ]** をクリックします。

図 2.3 InstallShield ウィザードのセットアップの開始

5. **[次へ]** をクリックしてアプリケーションのインストールを続行するか、**[キャンセル]** をクリックしてインストールを中止します。

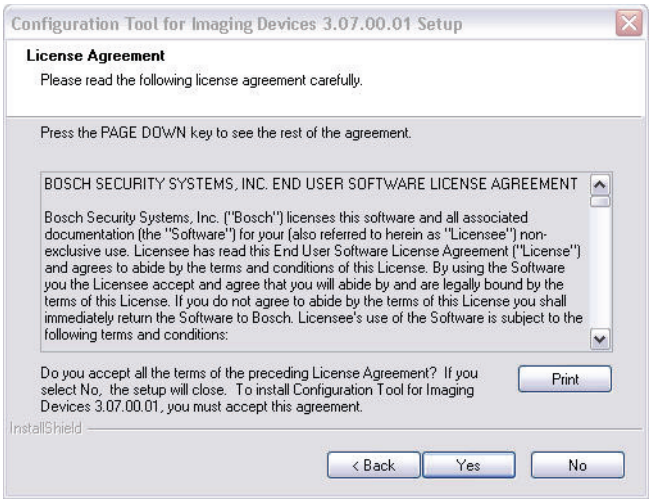


図 2.4 使用許諾契約書の確認

6. 使用許諾契約書の条件に同意する場合は **[はい]**、インストールを中止する場合は **[いいえ]** をクリックします。

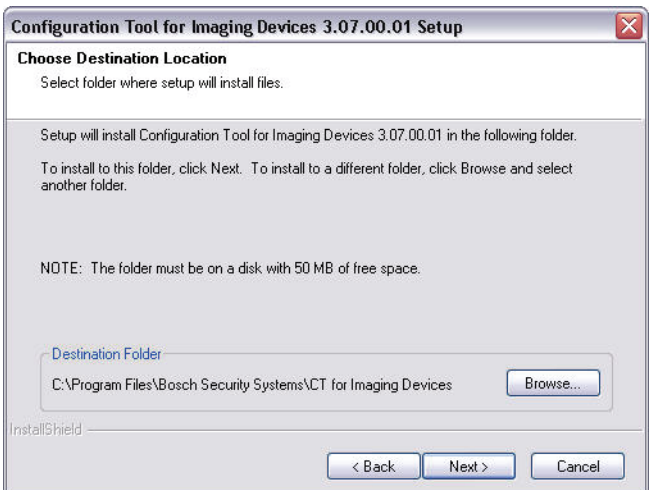


図 2.5 インストール先フォルダーの選択

7. デフォルトの場所をそのまま使用する場合は、**[次へ]** をクリックします。インストールディレクトリを変更する場合は、**[参照]** をクリックして目的のディレクトリに移動します。次に **[次へ]** をクリックします。

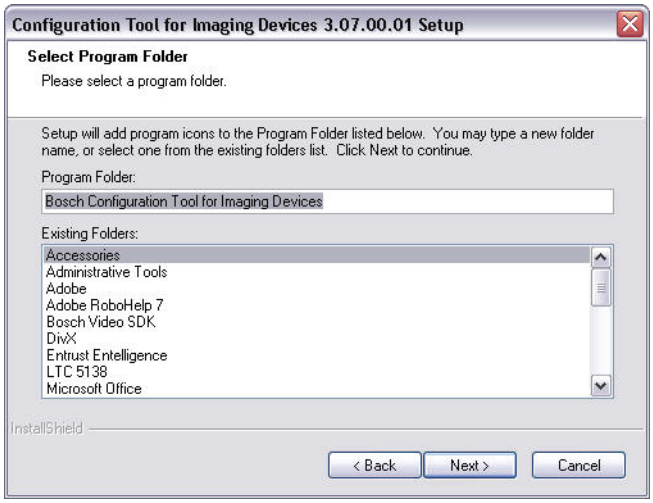


図 2.6 プログラムフォルダーの命名

8. デフォルトのプログラムフォルダー **Bosch Configuration Tool for Imaging Devices** をそのまま使用する場合は **[次へ]** をクリックします。フォルダーの名前を変更する場合は、新しい名前を入力して、**[次へ]** をクリックします。

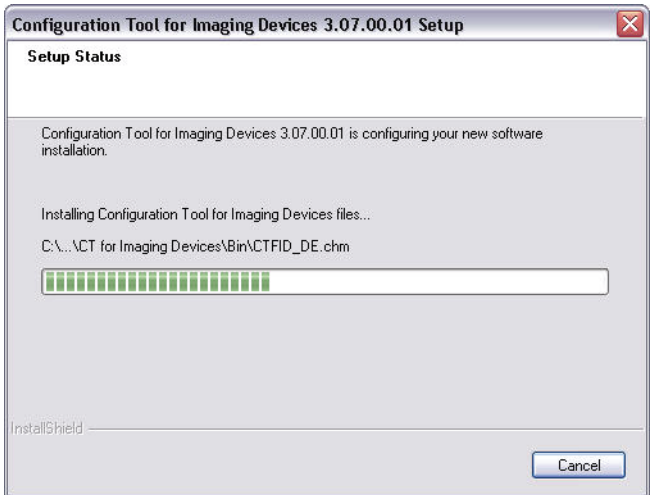


図 2.7 ファイルのコピー

9. 目的のフォルダーにファイルをコピーする場合は **[次へ]** をクリックし、インストールを中止する場合は **[キャンセル]** をクリックします。

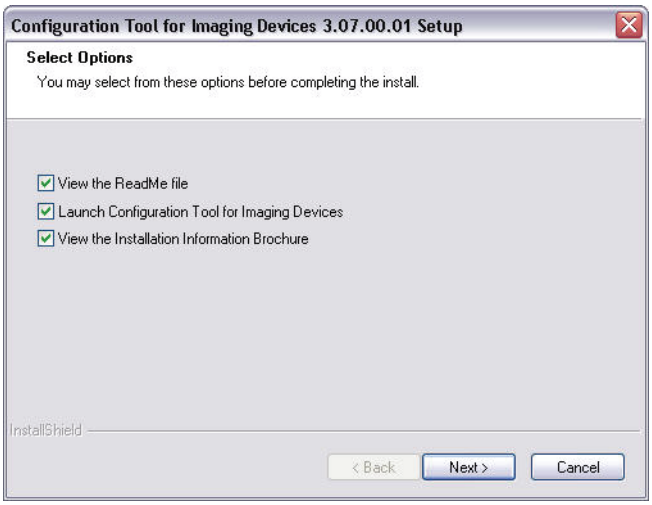


図 2.8 最後のオプションの選択

10. 該当するチェックボックスをオンにして、**[次へ]** をクリックします。

図 2.9 インストールの完了

11. **[終了]** をクリックしてインストールを完了します。CTFID アプリケーションが起動し、該当するチェックボックスがオンになっている場合は、取扱説明書や readme ファイルが自動的に表示されます。

3 接続

CTFID には、VP-USB アダプターが付属しており、Windows® オペレーティングシステムでサポートされるあらゆる USB ポートに接続できます。CTFID ソフトウェアがロードされると、アダプターは Bilinx 対応カメラまたは AutoDome からの映像信号で通信を行います。
CTFID ソフトウェアを画像装置にリンクする場合、3 種類の接続方法を利用できます。はじめの 2 つの方法では、Bilinx プロトコルを使用して同軸ケーブル経由で通信します。この方法では、PC の USB ポートまたはシリアル COMM ポートのいずれかに接続します。 3 つ目の方法では、PC の COMM ポートと画像装置（AutoDome のみ）の間を RS-232 で直接接続します。

3.1 VP-USB Configuration Tool の接続

ハードウェアを USB ポートに接続する前に、CTFID ソフトウェアをインストールすることを推奨します。追加情報については、*6 ページのセクション「2 CTFID のインストール」*を参照してください。
デバイスの出力を確認するには、ルーピング入力に対応する CCTV モニターを使用するか、同軸ケーブルの T コネクター（付属していません）により、第 2 の同軸ケーブルを CCTV モニターに接続します。モニターが自動終端機能付きであること、または低インピーダンスに設定されていることを確認してください。代表的な CCTV モニターの接続例については、*図 3.1* を参照してください。

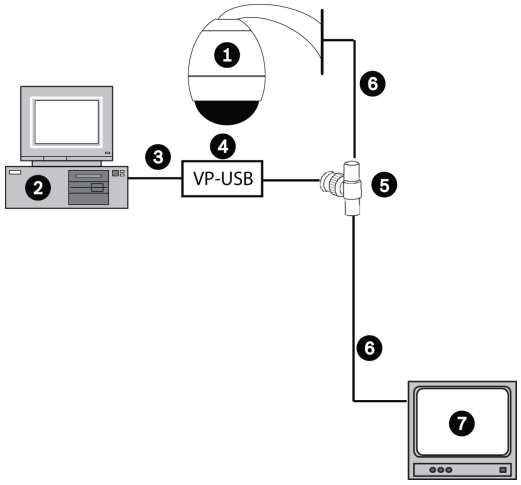


図 3.1 VP-USB Configuration Tool の接続

番号	説明
1	通常の AutoDome バージョン 5.10 以上、およびその他の Bilinx デバイス
2	CTFID ソフトウェアを実行している PC
3	USB ポート
4	VP-USB アダプター
5	BNC "T" コネクター
6	モニター入力への同軸ケーブル
7	一般的な CCTV モニター

PC への VP-USB Configuration Tool の接続

1. コンピューターの USB ポートに Configuration Tool USB ケーブルを挿入します。この USB ケーブルの反対側は、Configuration Tool ハードウェアに繋がっています。
2. VP-USB からの同軸ケーブルを、BNC "T" コネクターのオス端子へ接続します。
3. 同軸ケーブルをモニターの入力に接続します。
4. モニターの同軸ケーブルの反対側を BNC "T" コネクターのメス端子の 1 つに接続します。
5. カメラの同軸ケーブルを BNC "T" コネクターのもう 1 つのメス端子に接続します。

3.2 VP-RS2BLNX Configuration Tool の接続

ハードウェアをシリアルポートに接続する前に、CTFID ソフトウェアをインストールすることをお勧めします。追加情報については、*6 ページのセクション「2 CTFID のインストール」*を参照してください。

デバイスの出力を確認するには、CCTV モニターを使用します。画像装置に接続された同軸ケーブルを、VP-RS2BLNX の BNC コネクターの 1 つに接続します。2 つ目の BNC コネクターと CCTV モニターの間を、別の同軸ケーブルで接続します。モニターが自動終端機能付きであること、または低インピーダンスに設定されていることを確認してください。代表的な CCTV モニターの接続例については、*図 3.3* を参照してください。

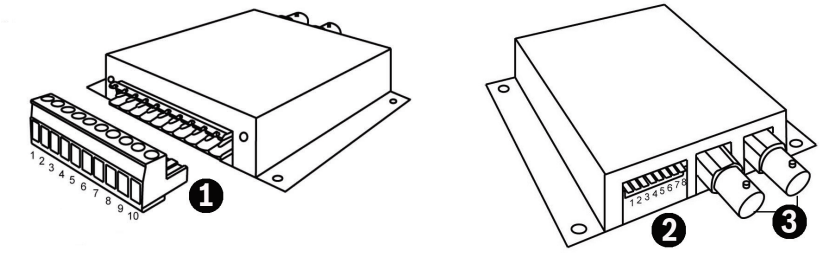


図 3.2 VP-RS2BLNX 接続

番号	説明
1	電源およびシリアル接続
2	モードとボーレートの選択
3	BNC 接続、パッシブループスルー、高インピーダンス、映像入力 1Vpp（公称）、2Vpp（最大）

VP-RS2BLNX（Bilinx）の接続

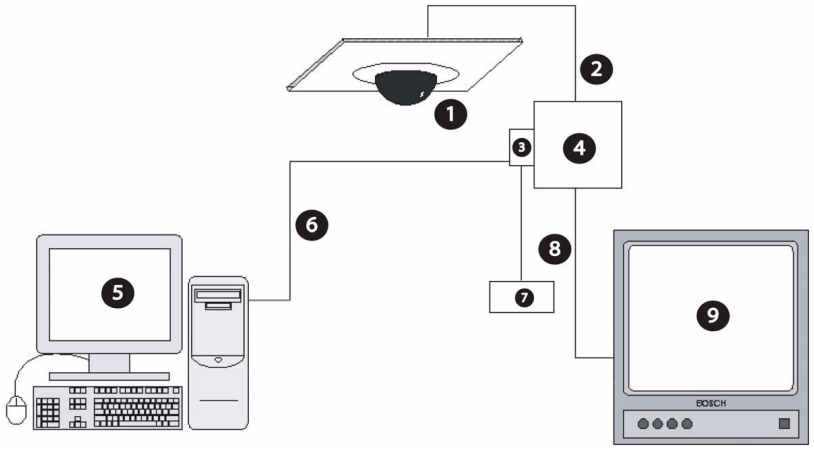


図 3.3 VP-RS2BLNX Configuration Tool の接続

番号	説明
1	通常の AutoDome バージョン 5.10 以上、およびその他の Bilinx デバイス
2	同軸入力
3	端子台
4	VP-RS2BLNX
5	CTFID ソフトウェアを実行している PC
6	RS-232
7	電源（非付属品）
8	同軸出力
9	一般的な CCTV モニター

PC への VP-RS2BLNX Configuration Tool の接続

1. 端子台のピン 1 と 2 は、非付属品の外部電源を接続するためのものです。外部電源は、AC 12 ~ 28V（50/60Hz）または DC 12 ~ 40V（極性は任意）を利用しなければなりません。映像デバイス、RS-232 のグランド、ケースからは絶縁されます。

注シリアル / Bilinx コンバーターインターフェースは、15VA 未満の自己抑制機能がある電源を使用して給電する必要があります 安全性の高い変換器を利用し、PCB との距離を置くことで、入力 / 出力間の絶縁を強化することができます。米国 / カナダ：シリアル / Bilinx コンバーターは、屋内で使用する製品です。この製品は、UL-listed Class 2 電源での使用を前提としています。

2. VP-RS2BLNX Configuration Tool の端子台とコンピューターのシリアルポートをケーブルで接続します。正しく接続するために、以下の表でピン出力を確認してください。

注 VP-RS2BLNX は、RS-232 または RS-485 モードで利用できます。

	ピン番号	説明
PC DB9		
	2	RxD
	3	TXD
	5	GnD
VP-RS2BLNX 端子台		
	ピン 3	GND
	ピン 4	TXD
	ピン 5	RxD

または

	ピン番号	説明
VP-RS2BLNX 端子台		
	ピン 6	Tx/Rx+（B）
	ピン 7	Tx/Rx-（A）
	ピン 8	接続しないでください
	ピン 9	接続しないでください
	ピン 10	GND

ディップスイッチ	説明
8	オン：RS-485、オフ：RS-232
7	RS-232 ボーレート（オン：4800、オフ：9600Bps）
7-1	RS-485 アドレス（0 ~ 127）

表 3.1 モードとボーレートの選択

3. Bilinx デバイスと、VP-RS2BLNX のどちらかの BNC を同軸ケーブルで接続します。
4. VP-RS2BLNX のルーピング出力と CCTV モニターの入力を、2 つ目の同軸ケーブルで接続します。

3.3 AutoDome RS-232 への接続

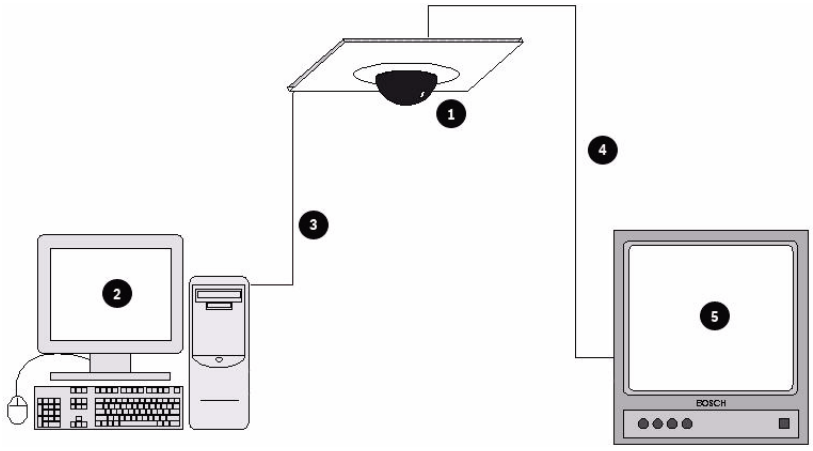


図 3.4 AutoDome RS-232 から PC への接続

番号	説明
1	AutoDome 200、300、および 500 シリーズ
2	CTFID ソフトウェアを実行している PC
3	RS-232
4	モニター入力への同軸ケーブル
5	一般的な CCTV モニター

AutoDome から PC への接続

1. RS-232 ケーブルの構成を以下の表で確認します。

	ピン番号	説明
PC DB9		
	2	RxD
	3	TXD
	5	GnD
P105（AutoDome 200、300、500）		
	5	RxD
	4	TXD
	6	GnD

2. DB9 コネクターを PC の Com ポートに接続します。
3. P105 を AutoDome に接続します。
4. 同軸ケーブルを使用して、AutoDome の映像出力を CCTV モニターに接続します。
5. AutoDome のメインボードにあるスライドスイッチの位置を調整します。スイッチをカメラヘッドの方へ、LED と反対の内側にスライドします。*図 3.5* を参照してください。

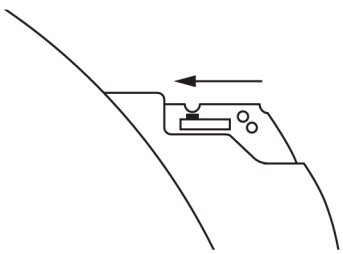


図 3.5 RS-232

3.4 CTFID アプリケーションへのアクセス

CTFID では、双方向の通信方式である Bilinx テクノロジを採用しています。このテクノロジは、映像信号に組み込まれています。あるいは、シリアルインターフェース経由の BiCom を使用して、シリアルインターフェースによるデバイスへの接続を実現することもできます。
カメラとドームの設定は、オンラインモードでデバイスに接続しているときに変更できます。または、データを処理したり、同じデバイスや同様のデバイスにアップロードしたりするために、オフラインモードでデータをダウンロードして保存することもできます。

CTFID へのアクセス

1. デスクトップウィンドウにある **Configuration Tool for Imaging Devices** アイコンをダブルクリックします。
   または
   Windows の **[スタート]** ボタンをクリックして、**[プログラム]** を選択します。次に **[Configuration Tool for Imaging Devices]** フォルダーを選択します。最後に **[Configuration Tool for Imaging Devices]** アプリケーションを選択します。

図 3.6 アプリケーションの起動

2. デフォルトでは、デバイスは Bilinx 経由で自動的に特定のデバイスに接続しようとします。アプリケーションにより、約 20 ~ 30 秒間、次のメッセージが表示されます。

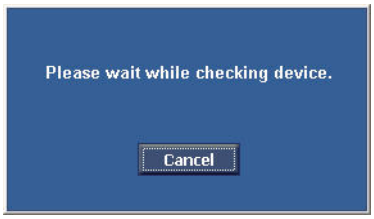


図 3.7 デバイスの確認

3. デバイスが検出された場合、第 4 章に進みます。1 分以内にデバイスが検出されない場合、またはユーザーが **[キャンセル]** ボタンをクリックしてプロセスを中断した場合、別のインターフェースを選択したり、オフラインモードで作業を続行したりするためのオプションが提示されます。

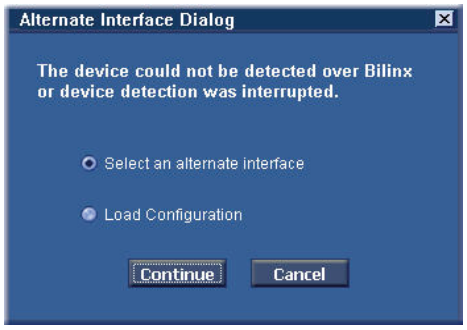


図 3.8 代替（Alternate）インターフェースダイアログボックス

4. 代替のインターフェースを選択するには、**[Select an alternate interface（代替インターフェースを選択）]** オプションをクリックして、[続行] をクリックします **（*15 ページの図 3.8* を参照）。次に、該当するインターフェースの種類を選択して、**手順 5 に進みます。
または
オフラインモードで作業を行う場合は、**[Load Configuration（設定をロード）]** オプション、**[続行]** の順にクリックして、手順 6 に進みます。

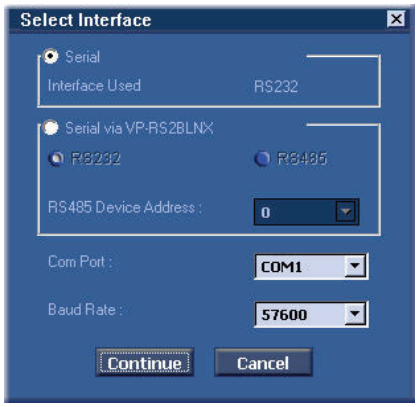


図 3.9 インターフェースの選択

5. アプリケーションは、デバイスを検出しようとします。アプリケーションがデバイスを検出した場合、**[Overview（概要）]** ウィンドウが開きます（第 4 章を参照）。アプリケーションがデバイスを検出しなかった場合、**[Load Configuration（設定をロード）]** ウィンドウが開きます。

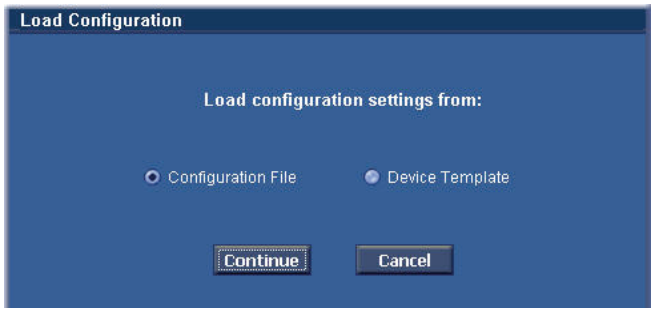


図 3.10 設定をロードするためのウィンドウ

6. 既存の設定ファイルを開くには、**[Configuration File（設定ファイル）]** オプション、**[続行]** の順にクリックして、手順 7 に進みます。
   または
   新しい設定ファイルを作成するには、**[Device Template（デバイステンプレート）]** オプション、**[続行]** の順にクリックして、手順 8 に進みます。

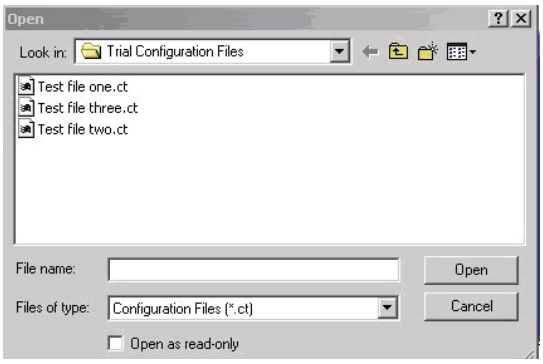
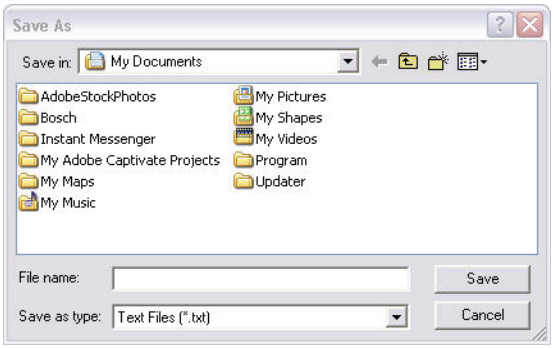


図 3.11 ファイルのダイアログボックスを開く

7. 設定ファイルに移動して、**[開く]** をクリックします。第 4 章に進みます。

図 3.12 デバイスの選択

8. デバイス名がハイライトされることにより、新しい設定を作成するデバイスを選択します。
   [Video Type（映像の種類）] として **[NTSC]** または **[PAL]** を選択して、**[Continue（続行）]** をクリックします。**?Overview?????** ウィンドウが開き、デバイスのデフォルト設定が表示されます。
9. テンプレートを変更して、**[Save Configuration（設定を保存）]** ボタンをクリックします。
   [Save As（名前を付けて保存）] ダイアログボックスが開きます。



10. 設定ファイルを保存するフォルダーに移動します。
11. **[File name（ファイル名）]** フィールドに、設定ファイルの名前を入力します。
12. **[Save（保存）]** をクリックします。設定ファイルは、指定したフォルダーに保存されます。

4 Configuration Tool の使い方

CTFID のメイン画面には、テンプレートの変更、ライブ表示の設定、特定のデバイス情報の表示、情報のダウンロード、デバイス設定の変更、デバイスの操作を行うためのオプションがすべて表示されます。デフォルトの CTFID の場合、起動時に中央のワークスペースに **[Overview（概要）]** ウィンドウが表示されます。メイン画面は、*図 4.1* に示すように 4 つの領域で構成されています。

図 4.1 [Overview（概要）] / メインウィンドウ

領域の参照番号	説明	機能
1	メインメニューの列	左側の列はメインメニューです。**[概要]**、**[Offline Config（オフライン設定）]**、**[Online Config（オンライン設定）]**、**[キーボード]**、**[ログ]**、**[Exit（終了）]** ボタンが表示されます。
2	中央ワークスペース	中央のセクションは中央ワークスペースです。デバイス情報が表示され、ここからユーザー設定にアクセスできます。
3	システムフィードバック	下部の領域はシステムフィードバックです。デバイスの種類、アラーム、接続ステータス、動体情報などが表示されます。
4	操作ボタンの列	操作ボタンの列には、言語の作成、保存、アップロード、ダウンロード、復元、印刷、変更のボタンと、オンラインヘルプシステムにアクセスするボタンが表示されます。

4.1 メインメニューのボタン

ボタン	説明
	[Overview（概要）] ウィンドウを開きます。 **[Overview（概要）]** ウィンドウには、デバイス、アプリケーション環境、アプリケーションの状態に関して、一般的な情報が表示されます。このデータには、特定のデバイス情報も含まれます。
	Offline（オフライン）モードウィンドウを開きます。**Offline（オフライン）**モードウィンドウでは、新しい設定ファイルの設定を指定したり、既存の設定ファイルの設定を変更したりできます。 注：CTFID ソフトウェアでは、2 つのファイルを同時に開くことができます。 - **Online（オンライン）**モード設定ファイル：接続したデバイスの現在の設定が含まれています。 - **Offline（オフライン）**モード設定ファイル：特定の設定ファイルに保存された設定またはデフォルトのデバイス設定が含まれています。
	Offline（オフライン）モードウィンドウを開きます。**オンライン**モードウィンドウには、Configuration Tool ソフトウェアに接続されたデバイスの現在の設定が表示されます。**Online（オンライン）**モードで行った設定の変更は、デバイスに反映されます。
	[Virtual Keyboard（仮想キーボード）] ウィンドウを開きます。仮想キーボードでは、デバイスの種類に応じてさまざまな設定を制御します。**Online（オンライン）**モードでは、この画面の設定を変更すると、デバイスの設定も自動的に変更されます。
	[ログ] ウィンドウを開きます。 **[ログ]** ウィンドウでは、接続したデバイスから診断情報をダウンロードできます。ダウンロードした診断情報は、テキストファイルとして保存できます。 注：**[ログ]** ボタンは、CTFID ソフトウェアが VG4 シリーズ AutoDome に接続されている場合にのみ有効になります。
	Configuration Tool for Imaging Devices の終了

表 4.1 メインメニューのボタン

4.1.1 [Overview（概要）] ウインドウ

[Overview（概要）] ウィンドウには、デバイス、アプリケーション環境、アプリケーションの状態に関して、一般的な情報が表示されます。このデータには、特定のデバイス情報も含まれます（*図 4.1* を参照）。

4.1.2 オフラインモードウインドウ

Offline（オフライン）モードウィンドウでは、新しい設定ファイルの設定を指定したり、既存の設定ファイルの設定を変更したりします。データを処理して他のデバイスにアップロードできるように、データをダウンロードして保存するには、**[Offline Config（オフライン設定）]** ボタンをクリックします。

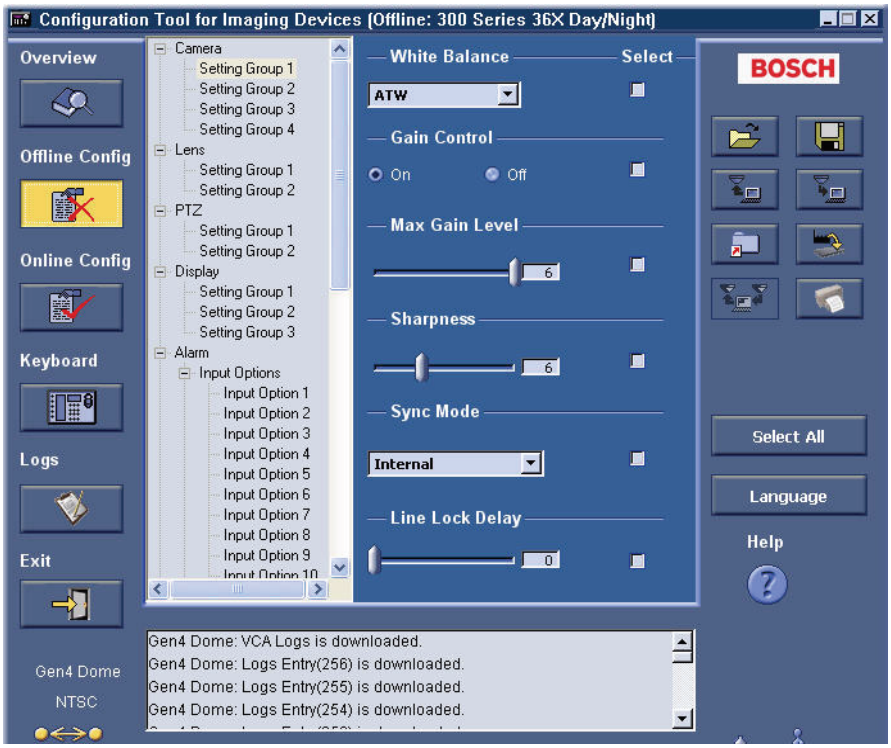


図 4.2 オフラインモードウィンドウ

注見出しと設定のツリーは、選択したデバイスによって異なります。設定の詳細については、特定のデバイスのインストール手順マニュアルを参照してください。

設定の上書き

開いたファイルで作業を行っており、**オフライン**モードで別のファイルをさらに開く場合、次の **[Information（情報）]** ダイアログボックスが開きます。

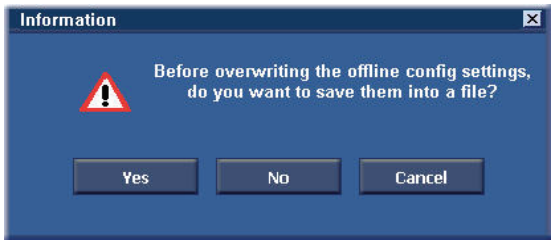


図 4.3 [Information（情報）] ダイアログボックス

[Information（情報）] ダイアログボックスには、いくつかのオプションがあります。

- **[はい]** をクリックすると、**[Save As（名前を付けて保存）]** ダイアログボックスが開きます。名前を付けて、ファイルを保存します。
- **[いいえ]** をクリックすると、ファイルに対する変更は保存されません。 [Load Configuration（設定をロード）] ダイアログボックスが開きます。別のファイルまたはデバイステンプレートを選択します。
- **[キャンセル]** をクリックすると、ダイアログボックスが閉じます。

4.1.3 オンラインモードウインドウ

Online（オンライン）モードウィンドウでは、Configuration Tool for Imaging Devices に接続されたデバイスの現在の設定を表示できます。デバイス設定を **Online（オンライン）**モードで変更すると、その変更はすぐにリモートデバイスに反映されます。**Online（オンライン）**モードウィンドウにアクセスするには、**[Online Config（オンライン設定）]** ボタンをクリックします。

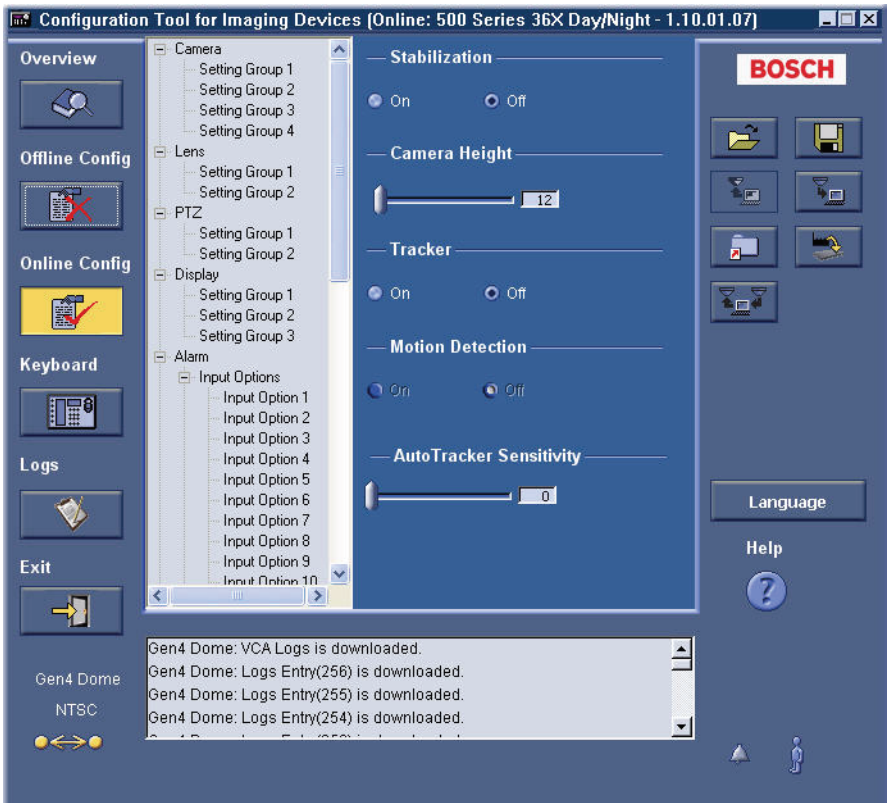


図 4.4 オンラインモードウィンドウ

注見出しと設定のツリーは、選択したデバイスによって異なります。設定の詳細については、特定のデバイスのインストール手順マニュアルを参照してください。

4.1.4 [Virtual Keyboard（仮想キーボード）] ウインドウ

[Virtual Keyboard（仮想キーボード）] ウインドウにアクセスするには、**[キーボード]** ボタンをクリックします。 [Virtual Keyboard（仮想キーボード）] ウインドウでは、設定を調整することができます。PC モニターがデバイスに接続されている場合、設定変更の影響を確認できます。

注 [Virtual Keyboard（仮想キーボード）] ウィンドウのレイアウトは、デバイスによって異なります。ここで説明する機能は、すべてのデバイスで利用できるわけではありません。

VG4 シリーズ AutoDome のパン / チルト

カーソルを [パン / チルト] コントロール（*図 4.5* の 1 を参照）に移動して、左のマウスボタンを押したままにします。可変速度のデバイスを使用している場合、カーソルがコントロールの中央から離れるほど、デバイスのパンが速くなります。コントロールに対してカーソルをロックするには、左マウスボタンをダブルクリックします。この場合、マウスを動かすと、デバイスも動きます。1 回左クリックすると、カーソルのロックが解除されます。

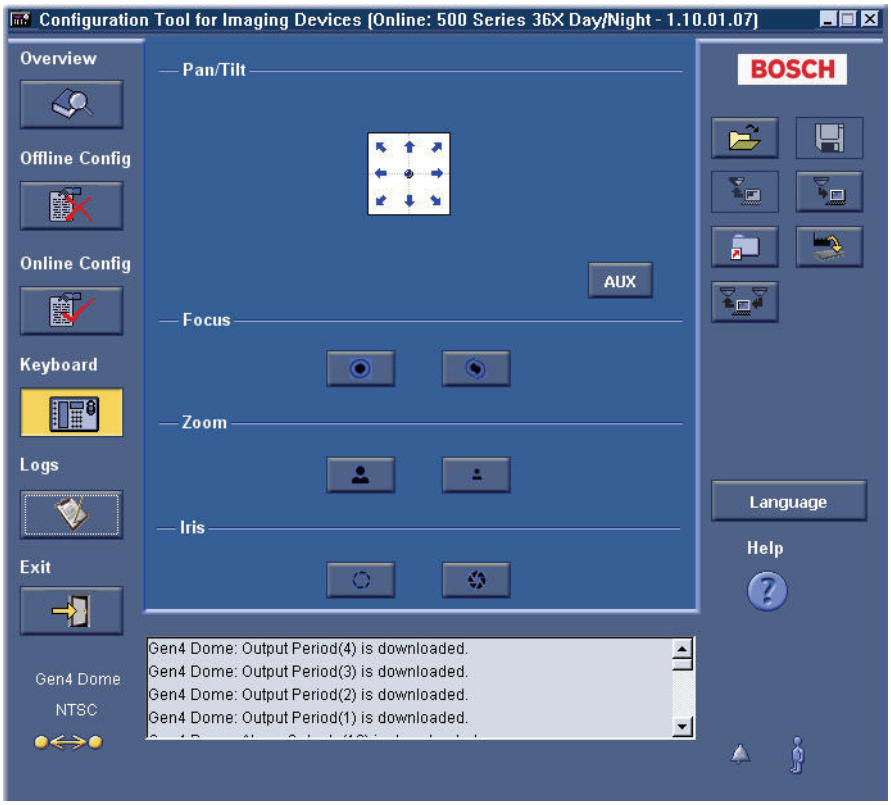


図 4.5 VG4 シリーズ AutoDome の [Virtual Keyboard（仮想キーボード）] ウィンドウ

番号	ボタン	説明
1	パン / チルト	デバイスを移動します。
2	AUX	**[AUX コマンド]** ダイアログボックスを開きます。
3	フォーカス	フォーカスレンズの範囲を広げます。
4	フォーカス	フォーカスレンズの範囲を狭めます。
5	ズーム	デバイスの被写体にズームインします。
6	ズーム	ズームアウトして、視野を広げます。
7	アイリス	露出が適切になるように光量を増やします。
8	アイリス	露出が適切になるように光量を減らします。

Dinion の仮想キーボード

[Enter] コントロール（*図 4.6* の 5 を参照）にカーソルを移動して 1 回クリックすると **[モード]** メニューが開き、さらに 1 回クリックするとサブメニューが開きます。左ボタンを押したままにすると **[インストール]** メニューが開き、さらに 1 回クリックするとサブメニューが開きます。

図 4.6 Dinion の [Virtual Keyboard（仮想キーボード）] ウィンドウ

番号	ボタン	説明
1	パン / チルト	カーソルを上に移動します。
2	パン / チルト	カーソルを右に移動します。
3	パン / チルト	カーソルを下に移動します。
4	パン / チルト	カーソルを左に移動します。
5	Enter	[Enter] ボタンと同様に、メニューや機能を開きます。
6	AUX	**[AUX コマンド]** ダイアログボックスを開きます。

4.1.5 [AUX コマンド] ダイアログボックス

[AUX] ボタンをクリックすると、**[AUX コマンド]** ダイアログボックスが開きます。 **[AUX コマンド]** ダイアログボックスは、ハードウェアキーパッドをシミュレートできるように設計されており、AUX コマンドを直接入力できます。

AUX コマンドを入力するには、次の手順に従って操作します。

1. 左側にあるコマンドの種類のラジオボタンで、いずれかを選択します。
2. **[Shot # (ショット番号)]** フィールドで、4 桁の数字を入力します。または、キーパッドで 4 つの数字をクリックします。
3. **[Enter]** をクリックします。
   - コマンドがデバイスに送信されます。AutoDome および Dinion のキーボードコマンドの一覧については、第 8 章を参照してください。
   - FlexiDome および Unity Dome シリーズに対しては **[AUX]** ボタンがアクティブになりますが、その他のコマンドは利用できません。
   - Dinion のミッドレンジモデルに対しては、**[AUX]** ボタンは無効になります（Dinion LTC 0355、Dinion LTC 0356、Dinion LTC 0435、Dinion LTC 0455、FlexiDome VF VDM-345

シリーズ、FlexiDome XT VDM-355 シリーズ、FlexiDome VF VDC-445 シリーズ、FlexiDome XT VDC-455 シリーズ)。

図 4.7 [AUX コマンド] ダイアログボックス

番号	説明
1	ショットへのカメラの動きを開始します。ショットは、4 桁のショット番号を **[Shot # (ショット番号)]** フィールドに入力して選択します。
2	ショットを定義します。
3	補助的なカメラ機能をオンにします。
4	補助的なカメラ機能をオフにします。
5	入力した数字の **AUX** コマンドが表示されます。
6	数値キーパッド。

4.1.6 [ログ] ウインドウ

[ログ] ウインドウにアクセスするには、**[ログ]** ボタンをクリックします。**????** ウィンドウでは、接続したデバイスから診断ログ情報をダウンロードして表示することができます。

注 [ログ] ウインドウは、VG4 シリーズ AutoDome カメラが CTFID に接続されている場合にのみ有効になります。ここで説明する機能は、すべてのデバイスで利用できるわけではありません。

図 4.8 [ログ] ウインドウ

診断ログ情報をダウンロードして保存する方法

1. **[ダウンロード]** ボタンをクリックします。
2. **[Save Logs (ログを保存)]** ボタンをクリックします。 **[名前を付けて保存]** ダイアログボックスが開きます。

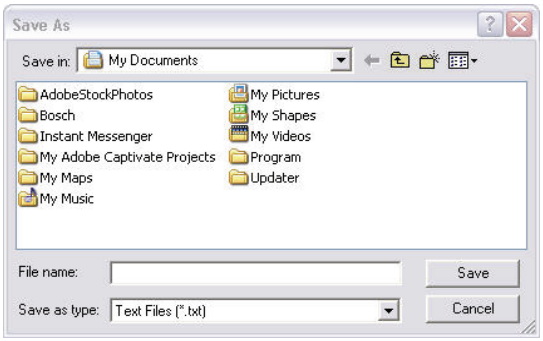


図 4.9 [名前を付けて保存] ダイアログボックス

3. ログファイルを保存するフォルダーに移動します。
4. **[ファイル名]** フィールドに、ログファイルの名前を入力します。
5. **[保存]** をクリックします。設定ファイルは、指定したフォルダーに保存されます。

4.2 中央ワークスペース

中央ワークスペースには、メインメニューのウィンドウが表示されます。たとえば、**[Offline Config (オフライン設定)]** ボタンをクリックしたときに、設定ファイルまたはデバイステンプレートが選択されていた場合、中央ワークスペースには、2 つの枠があるウィンドウが表示されます。中央ワークスペースの設定ツリーとウィンドウは、選択したデバイスによって異なります。設定は、異なるグループに分けられます。設定の詳細については、特定のデバイスのインストール手順マニュアルを参照してください。

図 4.10 オフライン設定、設定ツリー、およびデバイス設定

4.3 システムフィードバック

システムフィードバックセクションには、デバイス、アラーム、動体の情報が表示されます。**ステータス**テキストボックスには、**オンライン**モードで接続したデバイスの詳細が表示されます。

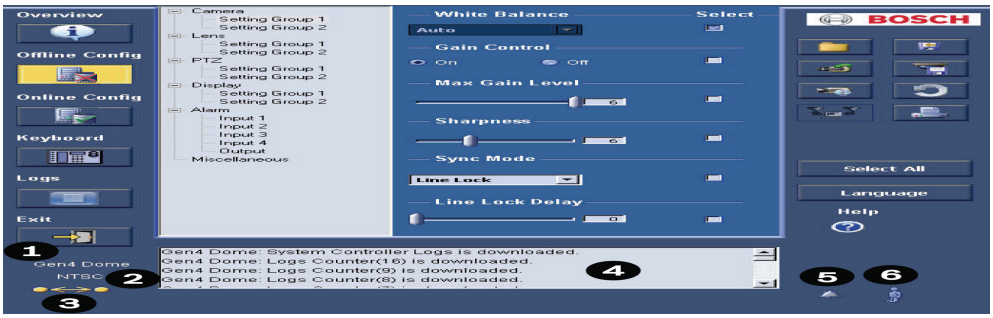
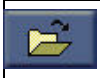


図 4.11 システムフィードバック

番号	説明
1	**Online（オンライン）**モードで現在接続しているデバイスの名前を示します。
2	**Online（オンライン）**モードで現在接続しているデバイスの映像の種類を示します。
3	デバイスが Configuration Tool for Imaging Devices に接続されていることを確認できます。 デバイスが接続されていない場合は、赤い X が表示されます。
4	アプリケーションが現在のデバイスの設定を表示していることを確認できます。設定に対する変更はすぐに適用されます。その他にも、次のようなメッセージがあります。 - 確認メッセージ：デバイスの設定を変更すると、設定の変更がこのボックスで通知されます。メッセージが表示されない場合は、デバイスが変更を受信していません。 - エラーメッセージ：デバイスに問題がある場合は、エラーメッセージが表示されることがあります。原因としては、接続の問題または互換性の問題が考えられます。
5	接続したデバイスのアラーム条件を検出します（アイコンが赤くなります）。アラームを確認するには、アイコンをクリックします。確認すると、アイコンは通常の灰色に戻ります。 注：VG4 シリーズ AutoDome がアラーム条件を検出すると、アラームアイコンが赤くなり、アラーム条件が解消されるまで赤いままになります。VG4 シリーズでは、アイコンをクリックするだけでは、アラームが確認されたことになりません。 注：**[アラーム]** アイコンは常に表示されていますが、関連する機能は、一部のデバイスで利用できない場合があります。
6	接続したデバイスの動体を検出します（アイコンが赤くなります）。動体を確認するには、アイコンをクリックします。確認すると、アイコンが通常の灰色に戻ります。 注：**[動体]** アイコンは常に表示されていますが、関連する機能は、一部のデバイスで利用できない場合があります。

4.4 操作ボタンの列

ボタン	説明
	設定ファイルを新規作成するか、または既存の設定ファイルを開きます。**?????** モードになっている場合、デフォルトでは、設定ファイルは**オフライン**モードで開きます。
	対象の設定ファイルを保存します。
	開いている設定ファイルをデバイスにアップロードします。 **[Upload Configuration（設定をアップロード）]** ボタンは、**Offline（オフライン）**モードで作業している場合にのみ使用可能です。
	デバイスから **Offline（オフライン）**モードに設定ファイルをダウンロードします。 注：**Offline（オフライン）**モードでこのボタンをクリックしたときに、デバイスに接続していなかった場合、「There is no compatible device currently connected.（現在、接続されている互換デバイスはありません）」というエラーメッセージが表示されます。
	ファームウェアアップグレードをデバイスに直接アップロードします。注：次のモデルでは利用できません：Dinion LTC 0355、Dinion LTC 0356、Dinion LTC 0435、Dinion LTC 0455、FlexiDome VF VDM-345 シリーズ、FlexiDome XT VDM-355 シリーズ、FlexiDome VF VDC-445 シリーズ、FlexiDome XT VDC-455 シリーズ。
	デバイスの全設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。Configuration Tool for Imaging Devices は、これ以降、デバイスからすべての設定をダウンロードします。 注：上記で説明した機能は、VG4 シリーズ AutoDome カメラが Configuration Tool For Imaging Devices に接続されている場合にのみ利用可能になります。
	オフラインモードでオフライン設定を印刷します。
	オフラインまたはオンラインの現在の設定を特定の AutoDome から別の AutoDome に移行します。
	[選択] チェックボックスをすべて自動的にオンにして、すべての変更をデバイスにアップロードします（**オフライン**モードの場合にのみ表示されます）。 一部のデバイス設定のみをアップロードするには、該当するチェックボックスをオンにします。**????** チェックボックスにより、デバイスにアップロードする変更を指定します。一部の設定のみを変更する場合に、このチェックボックスが役立ちます。すべての設定をアップロードする場合、処理に時間がかかることがあります。 - すべての設定をアップロードするには、**[すべて選択]** ボタンをクリックします。この操作で、すべてのチェックボックスが自動的にオンになります。これにより、ボタンが **[Deselect All（すべての選択を解除）]** に変わります。 - すべてのチェックボックスをオフにするには、**[Deselect All（すべての選択を解除）]** ボタンをクリックします。

ボタン	説明
	Configuration Tool ソフトウェアの表示言語を変更します。 注：言語設定の変更を反映するには、アプリケーションを再起動する必要があります。
	Configuration Tool ソフトウェアの**オンラインヘルプシステム**にアクセスします。

表 4.2 操作ボタン

5 設定の指定

設定ボタンを使用すると、デバイスで設定変更のアップロードとダウンロードを実行できます。変更した設定のみをダウンロード / アップロードした方がより効率的です。

5.1 設定のダウンロード

1. **[Offline Config（オフライン設定）]** ボタンまたは **[Online Config（オンライン設定）]** ボタンをクリックします。 **[Offline Config（オフライン設定）]** ウィンドウまたは **[Online Config（オンライン設定）]** ウィンドウが中央ワークスペースに表示されます。

図 5.1 [Offline Config（オフライン設定）] ウィンドウ

2. **[すべて選択]** をクリックするか、個別に設定するために該当するチェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにする前に **[Download Configuration（設定をダウンロード）]** ボタンをクリックすると、エラーメッセージが表示されます。
3. **[Download Configuration（設定をダウンロード）]** ボタンをクリックします。デバイスの設定は、自動的にアプリケーションにダウンロードされて、**[Offline Config（オフライン設定）]** ウィンドウに表示されます。
この処理は時間がかかる場合があります。プログレスバーは、処理の進行状況を示し、ウィンドウの一番下に表示されます。

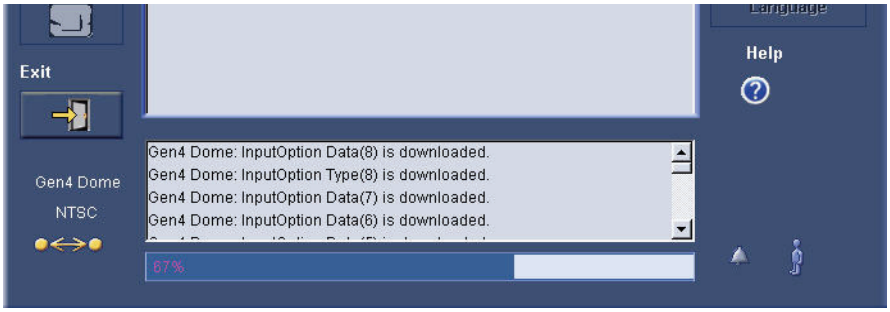


図 5.2 プログレスバー

4. CTFID で、確認メッセージが表示されます。

5.2 特定の設定変更のアップロード / ダウンロード

1. **Offline（オフライン）**モードで、デバイスの現在の設定を含む設定ファイルを開きます。

図 5.3 特定の変更のアップロードとダウンロード

注アップロードやダウンロードを行うファイルがない場合は、**オンライン**モードでデバイスに接続します。現在の設定は、接続時に自動的にダウンロードされます。 **[保存]** ボタンをクリックして **[名前を付けて保存]** ダイアログボックスを表示します。ファイルを保存するフォルダーに移動します。ファイルの名前を入力して、**[OK]** をクリックします。**Offline（オフライン）**モードで、保存した設定ファイルを開きます。

2. 変更する設定に移動します。たとえば、AutoDome セキュリティカメラで **[最大ゲインレベル]** を変更するには、**[Offline Config（オフライン設定）]** ウィンドウの **[カメラ設定グループ 1]** に移動します。
3. **[最大ゲインレベル]** のスライドを 2 から 6 へ動かします。
4. **[選択]** 列のチェックボックスをオンにします。
5. **[Upload Configuratio（設定をアップロード）]** または **[Download Configuration（設定をダウンロード）]** ボタンをクリックします。
   確認ダイアログボックスが表示され、オフライン設定ファイル内で選択した設定を、現在の特定のデバイス設定に変更することを確認できます。選択した設定のみがアップロードまたはダウンロードされます。
6. **[はい]** をクリックすると、設定のアップロードまたはダウンロードが開始されます。設定変更の数によっては、この処理に時間がかかる場合があるため、処理の進行状況を示すプログレスバーがウィンドウの一番下に表示されます（*図 5.2* を参照）。
7. 確認メッセージが表示されます。

注同じ設定変更を適用するデバイスが複数ある場合は、アプリケーションを開いたまま、**Offline (オフライン)** モードの設定ファイルから、[選択] チェックボックスで選択したのと同じ設定変更をアップロードまたはダウンロードすることで、デバイスからデバイスに設定を移行することができます。 [選択] チェックボックスは、設定ファイルを保存して閉じるときに保存されません。

5.3 既存の設定ファイルの変更

1. 設定ファイルを開きます。
2. 変更する設定を表示するウィンドウに移動します。

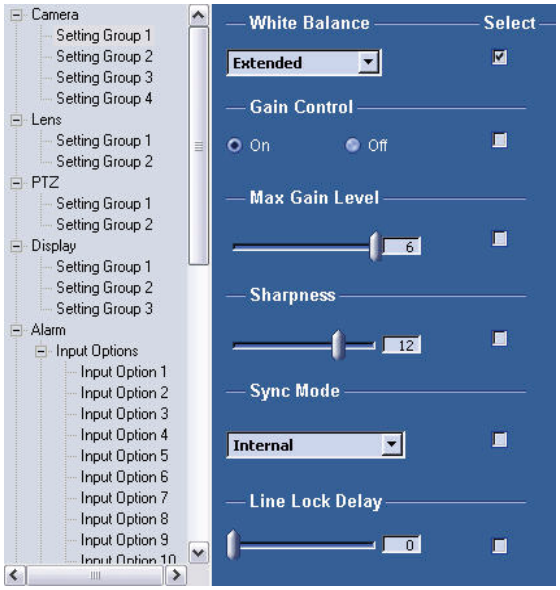


図 5.4 設定ツリーの表示ウィンドウ

3. **[Save Configuration (設定を保存)]** ボタンをクリックします。

5.4 すべての設定のデバイスへのアップロード

1. **オフライン**モードでは、設定ファイルを新規作成するか、アップロードする設定が保存された設定ファイルを開きます。
2. **[すべて選択]** をクリックします。 **[選択]** チェックボックスがすべてオンになります。
3. **[Upload Configuration (設定をアップロード)]** ボタンをクリックします。
   確認ダイアログボックスが表示され、現在のデバイス設定を、オフライン設定ファイルの設定に変更することを確認できます。
4. **[はい]** をクリックすると、設定のアップロードが開始されます。設定変更の数によっては、処理の進行状況を示すプログレスバーがウィンドウの一番下に表示されます。

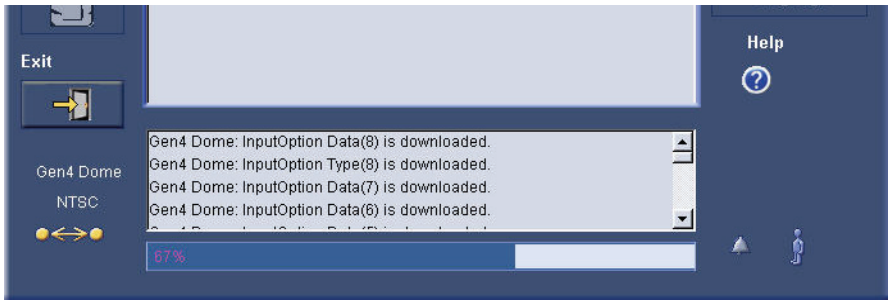


図 5.5 プログレスバーインジケーター

5. CTFID で、確認メッセージが表示されます。

5.5 設定の移行

オペレーターは、移行機能を使用して、特定の AutoDome から設定をダウンロードして、別の AutoDome にその設定をアップロードできます。この機能により、監視システムの各 AutoDome の設定を同じ方法で指定できます。

CTFID は、ダウンロードした設定をオペレーターのコンピューターにある設定ファイル（.ctm）に保存します。.ctm ファイルに保存された設定をアップロードするには、別の AutoDome を、CTFID アプリケーションがインストールされた、設定ファイルにアクセスできるコンピューターに接続します。次に、移行アップロードユーティリティを使用して、設定ファイルの設定を AutoDome にコピーします。

注：AutoDomes の間で設定を転送する場合にのみ、移行機能を使用することができます。AutoDome と別の画像装置の間で、あるいは、AutoDome ではない 2 つの画像装置の間で設定を移行しようとすると、CTFID は画像デバイスに互換性がないというメッセージを表示します。

1. AutoDome を、CTFID アプリケーションがインストールされたコンピューターに接続します。このコンピューターを、設定をアップロードする AutoDome に接続できることを確認します。
2. 別の AutoDome に接続できるコンピューターで、CTFID アプリケーションを起動します。
3. CTFID のメイン画面を使用して、AutoDome のオフライン設定またはオンライン設定を指定します。
4. **[Migration（移行）]** ボタンをクリックします。

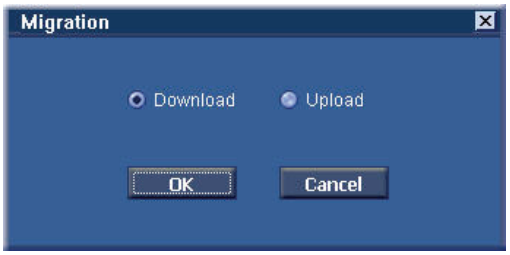


図 5.6 [Migration（移行）] ウィンドウ

5. **[ダウンロード]** ラジオボタンを選択して、[OK] をクリックします。
CTFID により、各 AutoDome 設定のパラメーターが収集され、[名前を付けて保存] ダイアログボックスが開きます。

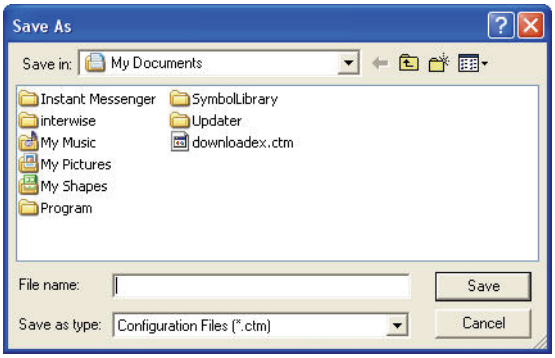


図 5.7 移行時の [名前を付けて保存] ダイアログボックス

6. 設定ファイル（.ctm）を保存するディレクトリに移動します。
7. [ファイル名] 入力ボックスでファイルの名前を入力して、**[保存]** をクリックします。
CTFID のメイン画面に戻ります。
8. コンピューターから AutoDome を切断します。
9. 設定をアップロードする AutoDome をコンピューターに接続します。
10. CTFID アプリケーションを起動して、ツールが AutoDome に接続されていることを確認します。

11. **[Migration （ 移行 ）]** ボタンをクリックして、[アップロード] ラジオボタンを選択します。

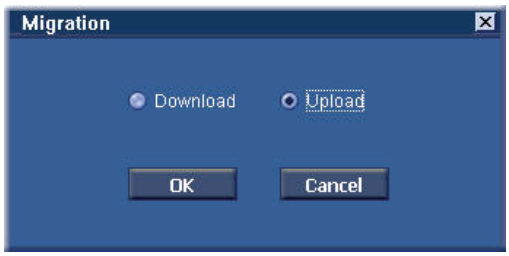


図 5.8 [Migration （ 移行 ）] ウィンドウ

12. **[OK]** をクリックします。
[開く] ダイアログボックスが開きます。

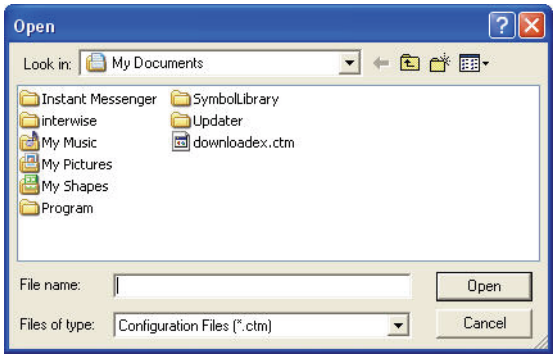


図 5.9 移行時の [開く] ダイアログボックス

13. 設定ファイルが入っているディレクトリに移動し、ファイル （ .ctm ） を選択して **[開く]** をクリックします。
設定ファイルの設定が AutoDome にアップロードされ始めます。

5.6 診断ログ情報のダウンロード

[ログ] ウィンドウでは、接続したデバイスから診断ログ情報をダウンロードして表示することができます。

1. **[ログ]** ボタンをクリックします。

図 5.10 [ログ] ウィンドウでの診断ログ情報のダウンロード

2. **[ダウンロード]** ボタンをクリックします。
3. **[Save Logs（ログを保存）]** ボタンをクリックします。

注 [ログ] ウインドウは、VG4 シリーズ AutoDome カメラが Configuration Tool for Imaging Devices に接続されている場合にのみ有効になります。ここで説明する機能は、すべてのデバイスで利用できるわけではありません。

5.7 ファームウェアのデバイスへのアップロード

ファームウェアをデバイスにアップロードできるように、boschsecurity.com Web サイトでは、更新プログラムを入手できます。CD-ROM を受け取る場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。

1. **[ファームウェアアップロード]** ボタンをクリックします。

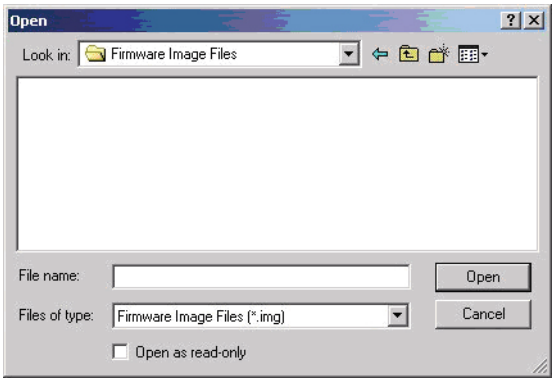


図 5.11 [ファイルを開く] ダイアログボックス

2. .img ファイルが入っているフォルダーに移動します。
3. .img ファイルをダブルクリックして、アップロードを実行します。アップロードプロセスによって、既存のファームウェアが消去され、新しいファームウェアがデバイスにロードされます。

5.8 ファームウェアの VG4 シリーズ AutoDome へのアップロード

ファームウェアをデバイスにアップロードできるように、boschsecurity.com Web サイトでは、更新プログラムを入手できます。CD-ROM を受け取る場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。CTFID ツールで VG4 シリーズ AutoDome をアップグレードする方法の詳細については、『*VG4 Firmware Update Manual*』を参照してください。

1. **[ファームウェアアップロード]** ボタンをクリックします。

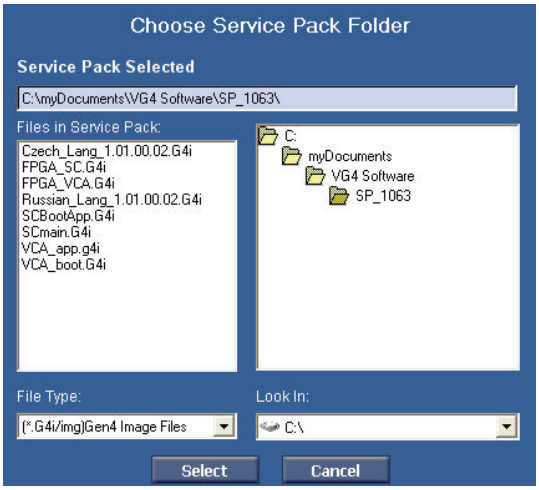


図 5.12 サービスパックのダイアログボックス

2. **Service Pack** フォルダーに移動します。
3. **[選択]** ボタンをクリックします。

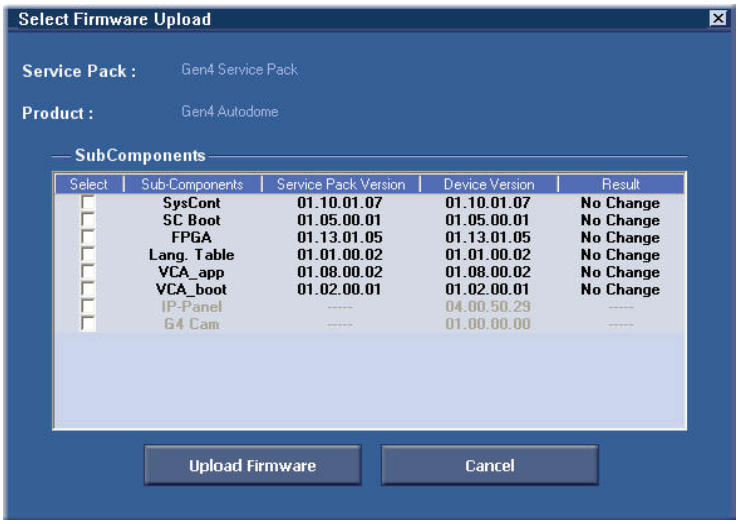


図 5.13 ファームウェアアップロードの選択ダイアログボックス

4. 更新するサブコンポーネントを選択します。
5. **[ファームウェアアップロード]** ボタンをクリックします。アップロードプロセスによって、既存のファームウェアが消去され、新しいファームウェアがデバイスにロードされます。

6 設定ツリーのオプション

設定ツリーで利用できるオプションは、選択したデバイスによって異なります。利用可能な機能については、以下の表を参照してください。

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
アクション	アラームがアクティブになっているときに、オペレーティングモードの選択を可能にします。	Dinion^{XF}	なし	なし、モード 1、モード 2、モード 3
アクティブ	アラームの入力をアクティブにする方法を制御します。 オプション： **なし**：無効。 **高**：ロジックの [高] を受信すると、アラームがアクティブになります。 **低**：ロジックの [低] を受信すると、アラームがアクティブになります。	Dinion^{XF}	なし	なし、高、低
アドレス	制御システム内の数値アドレスにより、所定のドームを操作できます。このアドレスは、Bilinx Configuration Tool for Imaging Devices（CTFID）を使用してローカルで設定できます。また、クイックアドレス機能を使用して、リモートでも設定できます（「クイックアドレス」を参照）。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ	0000	（なし）
Alarm Action（アラーム操作）	アラーム入力がアクティブである場合、カメラのオペレーティングモードを選択します。	Dinion 2X	なし	なし、モード 1、モード 2、モード 3、モード 4、モード 5、モード 6、モノクロ
アラーム入力	入力によって条件が変化した場合に、アラームをトリガーします。 オプション： **N.O.**（常開、ドライ接点） **N.C.**（常閉、ドライ接点） **N.C.S.**（常閉監視接点、アラーム入力 1 と 2 のみで使用可能） **N.O.S.**（常開監視接点、アラーム入力 1 と 2 のみで使用可能）	VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	N.O.	**VG4 シリーズ**：N.O.、N.C.、N.C.S.、N.O.S. **VEZ シリーズ**：N.O.、N.C.
アラーム入力	アラーム入力を無効にするには、[なし] を選択します。アラーム入力コネクターに対して、アクティブの [高] またはアクティブの [低] を選択します。	Dinion 2X、UPH シリーズ	なし	なし、高、低、モード 1、モード 2、モード 3

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
アラーム出力	**VMD**：VMD アラームで出力リレーが閉じます。 **外部デバイス**：出力リレーを、リモート通信デバイスで利用できるようにします。 **ナイトモードアクティブ**：カメラがモノクロモードになると、出力リレーが閉じます。 **フィルターの切り替え**：出力リレーは IR フィルターが移動を開始する直前に閉じ、映像レベルが安定すると開きます（2 ~ 3 秒）。	Dinion 2X、UPH シリーズ	ビデオ動体検出（VMD）	外部デバイス、VMD、モノクロモードアクティブ、IR フィルターの切り替え、リモート
ALC Level (Automatic Light Control)（ALC レベル（自動光量制御））	シーンの明るさに応じて、カメラを自動的に調整します。	Dinion 2X、Dinion^{XF}、Dinion FlexiDome、FlexiDome 2X Unity、UPH シリーズ	0	- 15 ~ + 15
ALC Speed (Automatic Light Control)（ALC 速度（自動光量制御））	映像レベル制御ループの速度を制御します。	Dinion 2X、Dinion^{XF}、FlexiDome 2X、Unity、UPH シリーズ	中速度	高速度 中速度 低速度
Area Select（領域選択）	編集している 4 分割表示を制御します。	Dinion^{XF}、UPH シリーズ	1	1 ~ 4
領域の状態	定義済み領域で動体をアクティブにチェックします。	Dinion^{XF}、UPH シリーズ	オン	オン、オフ
ボーレート自動選択	ボーレート自動選択をアクティブにします。	VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	オン	オン、オフ
オートブラック	シーンのコントラストがフルレンジに達していない場合でも（グレア、霧、霧雨など）、映像信号レベルを引き上げて、最大光量の映像信号を生成します。信号の最も暗い部分を黒に設定し、最も明るい部分を白に設定することで、コントラストを引き上げます。	Dinion^{XF} Dinion FlexiDome 2X FlexiDome Unity UPH シリーズ	オン	オン、オフ
オートフォーカス	レンズのフォーカスを最適な状態に自動調整し、最も鮮明な画像を実現します。 オプション： **スポット**：オートフォーカスを画像の中心に合わせて調整します。 **コンスタント**：画像全体に対してオートフォーカスをオンに設定します。 **マニュアル**：オートフォーカスを無効にして、フォーカスを手動操作に設定します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	マニュアル	スポット、コンスタント、マニュアル

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
オートアイリス	カメラセンサーの照明が適切になるようにレンズを自動調整します。このようなレンズは、暗い場所や光量が変わりやすい場所での使用にお勧めです。 オプション： **コンスタント**：オートアイリス機能を、オートアイリス操作のコンスタント値に設定します。 **マニュアル**：オートアイリス機能を無効にして、アイリスの制御を手動操作に設定します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	コンスタント	コンスタント、マニュアル
オートアイリスレベル	光量に応じて輝度を増減させます。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	8	1 ~ 15
オートパン速度	左右の制限設定の間の速度でカメラをパンします。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	30	1 ~ 60
オートピボット	画像の向きを正しく維持するためにカメラが回転すると、カメラが上下に向きを変えます。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	オン	オン、オフ
オート感度アップ最大	シャッター速度が [オート感度アップ] に設定されているときの感度の上限を設定します。	VG4 シリーズ	15 倍	2 倍、4 倍、7.5 倍、15 倍
AUX	制御コマンドをカメラに送信する [AUX コマンド] ダイアログボックスを表示します。	VG4 シリーズ	0	0 ~ 99（*54 ページのセクション「8 AUX キーボードコマンド」を参照*）
B- ゲイン	青ゲインを調整してホワイトポイントを最適化します。	Dinion 2X、 Dinion^{XF} LTC 0485、 LTC 0610、 LTC 0495、 LTC 0620、 Dinion LTC 0435、 LTC 0455、 FlexiDome VF VDC-445 および XT、FlexiDome 2X VDC-455、Unity Dome、UPH シリーズ	0	- 5 ~ + 5
逆光補正（BLC）	選択された画像範囲の映像レベルが最適化されます。この範囲外の部分は露出がアンダーまたはオーバーになる可能性があります。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、 VG4 シリーズ、VEZ シリーズ、 Dinion^{XF}、Dinion FlexiDome、Unity	オフ	オン、オフ

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
ボーレート	電気通信データの伝送速度（Bps 単位）。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ *、VEZ シリーズ *	9600	9600、19200、38400、57600 2400*、4800*、9600*、19800*、38400*、57600*
二相 / 音声	二相 / 音声をオンまたはオフにします。（注：音声はイーサネットモジュール付きの VG4 を対象としています。音声を選択すると、二相の通信が無効になります）	VG4 シリーズ	二相	二相、音声
ブラックレベル	画像にある黒い領域の最大限の制限に対応した映像信号レベル。	Dinion 2X、Dinion^{XF} FlexiDome 2X、UPH シリーズ	0	- 55 ~ + 55
マスク	帰路の間、カメラピックアップデバイスまたは画像チューブの電子ビームを削除します。これはライン周波数とフィールド周波数の周期パルスで構成された信号です。主にピックアップデバイスまたは画像チューブの帰路が見えないようにするために使用します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ	ブランクなし	ブランクなし、ブランクあり
逆光補正レベル	逆光が強い部分を電気的に補正し、通常はシルエットになるような細部を示します。	Dinion^{XF} Unity、UPH シリーズ	0	- 15 ~ + 15
BLC Mode（逆光補正モード）	通常はシルエットになるような細部を示すために、逆光が強い部分を補正するかどうかを切り替えます。	UPH シリーズ	オフ	オン、オフ
Cable Comp Level（ケーブル補正レベル）	長いケーブルで映像を転送する場合に、信号損失による画像の劣化を防止します。	Dinion 2X、Dinion^{XF}	（非アクティブ）	0 ~ 15
Cable Comp Type（ケーブル補正の種類）	使用している同軸ケーブルを選択できます。不明の場合は [デフォルト] を選択します。注：305m（1,000ft）を超えるケーブルの場合、画質が劣化する可能性があります。	Dinion 2X、Dinion^{XF}	オフ	オフ、デフォルト、RG59、同軸 12、同軸 6
カメラボタン	このボタンを無効にすることで、カメラ設定の不正な変更を防止します。	Dinion 2X、Dinion^{XF}、Dinion、FlexiDome、FlexiDome 2X、Unity、UPH シリーズ	有効	有効、無効
カメラの高さ	追跡している表面を基準とした垂直方向の高さ。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 500 シリーズ	366cm（12ft）	244 ~ 3048cm（8 ~ 100ft）
カメラ ID	ID の位置に応じて表示される 16 文字のカメラ名。	Dinion 2X、Dinion^{XF} FlexiDome 2X、UPH シリーズ	（空白フィールド）	（空白フィールド）

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
Camera ID Position（カメラ ID の位置）	出力画面でカメラ ID ラベルの位置を識別します。	Dinion 2X、FlexiDome 2X	オフ	オフ 左上 右上 左下 右下
カメラ OSD（オンスクリーンディスプレイ）	ライブ映像からのカメラオンスクリーンディスプレイ情報を有効または無効にします。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	オン	オン、オフ
カラーバースト	**オフ**：映像信号のカラーバーストをモノクロモードでオフにします。 **オン**：モノクロモードでもカラーバーストはアクティブな状態に保ちます（特定の DVR および IP エンコーダーが必要です）。	Dinion 2X、 FlexiDome 2X	オフ	オン、オフ
カスタムツアー時間	カスタムツアーシーケンスの時間を指定します。	VG4 シリーズ	3 秒	3 ~ 5 秒、10、15、20、25、30、40、50 秒、1 ~ 5 分、10 分
デイナイト	カメラは、電動の赤外線（IR）フィルターを備えています。光量の少ない場所や赤外線が照射された場所で使用する際には、設定により、機械式の赤外線フィルターは取り外してもかまいません。	Dinion 2X、 Dinion^{XF} LTC 0495、 LTC 0610、 FlexiDome 495、 FlexiDome 2X、 UnityDome DN VG4-162/VG4-164、DN VG4-152/VG4-154	オート	オート、カラー、モノクロ
デフォルトシャッター	十分な光量がある際、残像発生を防ぎ、高速で動く被写体を詳細かつ鮮明に撮影できるように、シャッター速度を高速に設定できるようにします。明るさが落ちて他の調整が効かなくなると、感度を維持するためにシャッター速度が標準設定に戻ります。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、 Dinion 2X Dinion^{XF}、 FlexiDome、 FlexiDome 2X、 Unity、UPH シリーズ	1/60	1/60、 1/100、 1/120、 1/250、 1/500、 1/1000、 1/2000、 1/5000、 1/10000
デジタルズーム	画像サイズを拡大 / 縮小する機能を有効または無効にします。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	オン	オン、オフ
表示位置	OSD オーバーレイ情報の位置を制御します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、	0	0 ~ 16

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
DVR / IP エンコーダー	**オン**：圧縮方式の補正のために、DVR または IP エンコーダーの接続に対して、カメラ出力を最適化します。 **オフ**：アナログシステム（マトリックススイッチャーまたはモニター）の接続に対して、カメラ出力を最適化します。	Dinion 2X、 FlexiDome 2X	オフ	オン、オフ
ダイナミックノイズリダクション	画像内のノイズ（画像アーティファクト）を測定して、自動的にノイズを軽減します。	Dinion 2X、Dinion^{XF}、 FlexiDome 2X、 Unity、UPH シリーズ	オート	オート、オフ
ダイナミックエンジン	**オフ**：自動的なシーンの詳細度設定および拡張機能をオフにします（テスト時のみ使用することを推奨）。 **XF-DYN**：光量が少ない場所で利用する場合、XF-DYN 内部処理が有効になります。 **2X-DYN**：XF-DYN 機能に加え、デュアルセンサー露光が動作します。厳しい照明条件では、各露出によるピクセルが合成されて、より詳細な画像が生成されます（スマート BLC が必要ない場合は［2X-DYN］が使用されます）。 **スマート BLC**：BLC 範囲と重み付けが自動的に定義されます。変化する照明条件に合わせて動的に調整されます。［2X-DYN］の長所はすべて含まれています。	Dinion 2X、 FlexiDome 2X		オフ、 XF Dyn、 2X-Dyn、 （2X-DYN は、LTC 0498 モデルのみで利用できます） スマート BLC
Filtermove（フィルター動作）	フィルター変更のときにアクティブになります。	Dinion^{XF}		
フォーカス極性	コントローラーのフォーカスボタンの動作を逆にします。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ	通常	通常、逆
フォーカス速度	フォーカスがぶれる場合にオートフォーカスが再調整を行う速度を制御します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	2	1 ~ 8
フレームのフリーズ	別の登録ポジションに移動する間、登録ポジションの映像フレームを保持します。新しいシーンに達すると、映像のフリーズが解除されます。	VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	オン	オン、オフ
G- ゲイン	緑ゲインを調整してホワイトポイントを最適化します。	Dinion^{XF} LTC 0485、 LTC 0610、 LTC 0495、 LTC 0620、Unity、 UPH シリーズ	0	- 50 ~ + 50

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
ゲイン	電圧または電源出力の増加（通常は dB で表されます）。	Dinion 2X、Dinion^{XF}、FlexiDome 2X、Unity、UPH シリーズ	AGC	AGC、固定
ゲイン調整	高画質を維持するためにゲインを自動的に最低限の値に設定します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ、Dinion、FlexiDome	オン	オン、オフ
Go to Shot（ショットへの移動）	定義済みショットに切り替えます。	G3A シリーズ、ENV シリーズ	1	0 ~ 99
ヒーター	屋外環境に対して補正を行う内部ヒーター。	FlexiDome、FlexiDome 2X	オフ	オン、オフ
Horizontal Phase（水平フェーズ）	水平フェーズオフセットを調整します。	Dinion 2X、Dinion^{XF}、Dinion	0	- 25 ~ 125
照明器				
照明器の明るさ				
未動作	ここで選択した期間の間ドームの制御が行われないと、未動作イベントが実行されます。 オプション： **オフ**：ドームをその位置に留めておく場合は［オフ］を選択します。 **シーン 1**：ドームをシーン 1 に移動する場合は［シーン 1］を選択します。 **前の AUX**：ドームを前の AUX 値に移動する場合は［前の AUX］を選択します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	オフ	オフ、シーン 1、前の AUX
未動作期間	ドームの制御が非アクティブの場合のドームの動作を指定します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	2 分	3 ~ 5 秒、10、15、20、25、30、40、50 秒、1 ~ 5 分、10 分
ID Border（ID 境界線）	出力画面でカメラ ID の周りに境界線を表示します。	Dinion 2X、FlexiDome 2X	オフ	オン、オフ
ID Position（ID の位置）	カメラ ID 名の位置を指定します。	Dinion^{XF}、UPH シリーズ	オフ	オフ、上、下
IR コントラスト	カメラのコントラストを最適化します。 オプション： **拡張**：赤外線の照射レベルの高い場所でのコントラストを自動的に最適化します。 **通常**：可視光線が照射された場所でのモノクロ撮影のコントラストを自動的に最適化します。	Dinion 2X、Dinion^{XF} LTC 0495、LTC 0610、FlexiDome 495、Flexidome 2X、UnityDome DN VG4-162 および VG4-164、DN VG4-152 および VG4-154	通常	拡張、通常

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
アイリス極性	コントローラーのアイリスボタンの動作を逆にします。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ	通常	通常、逆
絞り速度	アイリスがシーンの照明にあわせて開放を調整する速度を制御します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	5	1 ~ 10
入力	アラーム入力の種類を選択します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ	無効	無効、N.O.、N.C.
Input #/Output # (入力番号 / 出力番号)	物理入力 / 出力の種類を定義します。	VG4 シリーズ	1	1 ~ 4
Input/Output Option (入力 / 出力オプション)	アラームルールに対して、アラーム入力 / 出力のリストを定義します。	VG4 シリーズ	なし	アラーム入力 1 ~ 7、アラーム出力 1 ~ 3、アラームリレー、OSD、ショットなし、なし。注：オプションは VG4 設定により異なります。
ツアー中	シーンが登録ポジション軌道の一部であるかどうかを指定します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ	いいえ	はい、いいえ
言語	OSD の言語を制御します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ *、Dinion 2X、FlexiDome 2X	英語	英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、ポルトガル語、ポーランド語、イタリア語 *、オランダ語 *、チェコ語、ロシア語
ラインロック遅延	垂直ラインロック位相遅延を 0° ~ 359° の範囲で設定します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	0	0 ~ 359°
Low Pressure（低圧）	ユニットが加圧型であるかどうかを示します。	VG4 シリーズ（加圧型屋外用ハウジングあり）	オン	オン
MAC アドレス	MAC アドレスを表示します（工場出荷時の設定、変更不可)。	Dinion 2X、Flexidome 2X	デフォルトなし	選択肢なし
Mask Active（マスクアクティブ）	4 つのマスクのそれぞれをオンまたはオフにします。	Dinion 2X、FlexiDome 2X	オフ	オン、オフ
Mask Select（マスク選択）	マスクする 4 つの異なる領域の 1 つを識別します。	Dinion 2X、FlexiDome 2X	1	1、2、3、4
最大ズーム速度	ズーム速度を制御します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	低速度	低速度、中速度、高速度

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
最大ゲインレベル	AGC 動作中のゲインの最大値を制御します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、 VG4 シリーズ、VEZ シリーズ、 Dinion 2X、Dinion^{XF}、 FlexiDome 2X、Unity、 UPH シリーズ	6 6 20 20	1 ~ 6 1 ~ 6 0 ~ 30 0 ~ 28
モード ID	10 文字のタイトル。	Dinion^{XF}、Dinion 2X、UPH シリーズ	24 時間制	
Mode ID Position（モード ID 位置）	出力画面でモード ID ラベルの位置を識別します。	Dinion 2X、FlexiDome 2X	オフ	オフ 左上 右上 右下 左下
Mono Burst（モノクロバースト）	カラーバーストを調整します。 オプション： **オン**：カメラがモノクロモードになっても、カラーバーストはアクティブな状態に保たれます。 **オフ**：カメラがモノクロモードになっているときに、映像信号のカラーバーストをオフにします。	Dinion^{XF} LTC 0495、 LTC 0610、 FlexiDome 495、UnityDome DN VG4-162 および VG4-164、 DN VG4-152 および VG4-154	オフ	オン、オフ
動体検出	カメラがアクティブな領域で検出する感度の数値。	Dinion^{XF}	0	なし
ナイトモード	カメラのフィルター動作を調整します。 オプション *： **オート**：シーンの光量に応じて、フィルターを切り替えます。 **オン**：IR フィルターを取り外して、最大レベルの IR 感度を実現します。 **オフ**：カラーモードの操作のために、IR フィルターを利用可能にします。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、 VG4 シリーズ、 Dinion、 Unity	オート オート オート オート	オフ、オン、オート オフ、オン、オート オフ、オン、オート オフ、強制、オート
ナイトモードカラー	オート IR フィルターをモノクロ動作に切り替えます。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ	オフ	オン、オフ
ナイトモードしきい値（IRE）	カメラをモノクロ動作に切り替えるオートレベルを調整します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ	30	10 ~ 55
NightSense	カラー画像の信号を 1 つのモノクロ画像に結合することで、高解像度 Bosch カラーカメラの感度を 9db（3 倍）高める機能をアクティブにします。	UPH シリーズ	オート	オフ、強制、オート

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
Notch Filter（ノッチフィルター）	ノッチフィルターのオンとオフを切り替えます。ノッチフィルターでは、短い間隔で密集する縦線または物体（たとえば、窓に取り付けられている保安用の格子）によって生じるモアレパターンやカラーアーティファクトを除去できます。	Dinion 2X、FlexiDome 2X	オフ	オン、オフ
向き	画像の向きを 180 度逆にします（上下逆さまに設置する場合に最適です）。	VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	通常	通常、反転
OSD（画面表示）	オンスクリーンディスプレイアラームのテキスト（最大 16 文字）。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、 Dinion^{XF}、Dinion、 FlexiDome、Unity	オン	オン、オフ
OSD Alarm Text（OSD アラームテキスト）	カメラが動体検出アラームをトリガーするときにモニターに表示される 17 文字のテキスト。	Dinion 2X、FlexiDome 2X	デフォルトなし	検出された動体
OSD の明るさ	OSD の輝度を調整します。値 0 は暗い表示の値であり、10 は明るい表示の値です。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	0	0 ~ 10
OSD Feedback（OSD フィードバック）		Dinion 2X、FlexiDome 2X、UPH シリーズ	オン	オン、オフ
出力時間	出力リレーをアクティブにする時間を制御します。 **フォローアクション**：アラーム出力は、アラーム入力がアクティブになっていた時間と同じ時間だけアクティブになります。 **ラッチ**：オペレーターがクリアするまで、アラームはオンのままになります。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	フォローアクション	フォローアクション、1 ~ 5 秒、10、15、30 秒、1 ~ 5 分、10 分ラッチ
パスワード	ロックされたコマンドメニューへのアクセスを制限します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	0000	（なし）
パターン	すべてのマスクに対してパターンを選択します。	Dinion 2X、FlexiDome 2X	黒	黒、灰色、白、ノイズ
ピーク / 平均	ピークと平均の間で映像コントロールのバランスを調整します。0 ではカメラが平均映像レベルを制御し、+ 15 ではピーク映像レベルを制御します。	Dinion 2X、 Dinion^{XF}、 FlexiDome 2X、 Unity、UPH シリーズ	0	- 15 ~ + 15

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
ピークホワイト反転	[ピークホワイト反転] を使用すると、CRT/LCD ディスプレイのグレアを抑えることができます。 ANPR/LPR 用途で使用した場合は、ヘッドライトによるグレアが抑えられます （その用途でメリットがあることと、セキュリティシステムオペレーターの気が散らないことを、実機でテストしてください)。	Dinion 2X、 FlexiDome 2X	オフ	オン、オフ
Pre-Comp	映像のゲインを増幅します。ケーブルを長距離に敷設したときの補正に使用します。	VG4 シリーズ	1	1 ~ 10
優先度	デイ / ナイトオートモードでのみ利用できます。以下で選択する優先度が高いほど、光量が減ります。 オプション： **カラー**：カメラは、光量の許容範囲内でカラー画像を表示します。 **動体**：カメラは、光量の許容範囲内で残像発生を防ぎます。	Dinion 2X、 Dinion^{XF} LTC 0495、 LTC 0610 FlexiDome 495、FlexiDome 2X、UnityDome DN VG4-162 および VG4-164、 DN VG4-152 および VG4-154	カラー	動体、カラー
PTZ 固定速度	パン、チルト、ズームを固定速度で制御します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	4	1 ~ 15
R- ゲイン	赤ゲインを調整してホワイトポイントを最適化します。	Dinion 2X、 Dinion^{XF} LTC 0485、 LTC 0610、LTC 0495、 LTC 0620、 Dinion LTC 0435、 LTC 0455、 FlexiDome VF VDC-455 および XT VDC-455、 FlexiDome 2X、Unity、 UPH シリーズ	0	- 5 ~ + 5
彩度	彩度を調整します。 - 15 を設定すると、モノクロ画像になります。	Dinion 2X、 Dinion^{XF} LTC 0485、 LTC 0610、LTC 0495、 LTC 0620、 FlexiDome 2X、Unity、 UPH シリーズ	0	- 15 ~ + 5
シーン番号	シーンを切り替えます。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ	1	1 ~ 99
セクター番号	セクター名の間で切り替えます。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ	1	1 ~ 16
選択	アラーム出力のトリガー。	Dinion^{XF}	ビデオ動体検出	VMD、リモート

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
感度	定義済み領域で検出する動体に対して、アラーム出力のトリガーに必要な感度を指定します。	Dinion	0	0 ~ 100
感度アップ	CCD での統合時間を増やし、カメラの感度を上げます。この処理は、さまざまな連続した映像フレームからの信号を統合して信号ノイズを減らすことにより行われます。	Dinion^{XF}、 Unity、UPH シリーズ	4 倍	オフ、2 倍、3 倍、4 倍、5 倍、6 倍、7 倍、8 倍、9 倍、10 倍
感度アップ（オート感度アップ）	CCD での統合時間を増やし、カメラの感度を上げます。この処理は、さまざまな連続した映像フレームからの信号を統合して信号ノイズを減らすことにより行われます。	Dinion 2X、 FlexiDome 2X、 VG4 シリーズ	4 倍 15 倍	15 倍、10 倍、9 倍、8 倍、7.5 倍、7 倍、6 倍、5 倍、4 倍、3 倍、2 倍、オフ
シャープネス	画像のシャープネスを調整します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ、 Dinion 2X、FlexiDome 2X	6 6	1 ~ 16
シャープネスレベル	画像のシャープネスを調整します。	Dinion^{XF}、 Unity、UPH シリーズ	0	- 15 ~ + 15
Show Camera ID（カメラ ID を表示）	カメラ ID をモニターに表示します。	Dinion 2X、FlexiDome 2X	オフ	オン、オフ
Show Test Patterns（テストパターンを表示）	希望するテストパターンを選択して、設置や障害検出に役立てます。	Dinion 2X、FlexiDome 2X		カラーバー 100 %、 UV 平面、 鋸波 2H、 グレースケール 11 段階、 クロスハッチ、 チェッカーボード
シャッター / AGC	電子シャッター速度（AES）を調整します。集光装置により集光を行う時間を制御します。 オプション * : **オート**：カメラは自動的にシャッター速度を設定できます。 **AES**：カメラは選択されたシャッター速度をシーンの光量の許容範囲内で維持します。 **FL**：フリッカーレスモードは、光源による干渉を防止します（ビデオアイリスレンズまたは DC アイリスレンズでのみ使用することを推奨します）。 **固定**：ユーザーが定義したシャッター速度を選択できます。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、 VG4 300 および 500 シリーズ、VEZ シリーズ、 Dinion 2X、Dinion、 Dinion^{XF} FlexiDome、 FlexiDome 2X Unity、UPH シリーズ	1/60 1/60 AES AES 固定 AES	オート、60 倍、30 倍、15 倍、7.5 倍、4 倍、2 倍、1/1、 1/2、1/4、1/8、1/15、1/30、1/60、1/90、1/100、1/125、1/180、1/250、1/350、1/500、1/1000、1/1500、 1/2000、 1/3000、 1/4000、 1/6000、 1/10000、固定、AES、FL*

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
シャッターモード	オート感度アップのオン / オフを切り替えます。	VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	オート感度アップ (VG4 シリーズ 300 および 500 シリーズ)	オート感度アップ、オフ
スタビライゼーション	垂直方向および水平方向のカメラの振動を打ち消し、きわめて鮮明な画像を実現するアルゴリズム (「画揺れ補正」も参照)。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ	オン	オン、オフ
標準ツアー時間	ツアー時のプリセットの移行時間を変更します。	VG4 シリーズ	5 秒	3 ~ 5 秒、10、15、20、25、30、40、50 秒、1 ~ 5 分、10 分
Sub Carrier Phase (サブキャリアフェーズ)	ジェンロックになっているときに、サブキャリアオフセットを 1 度増やして調整します。ジェンロックでのみ利用できます。	Dinion 2X、Dinion^{XF}、Dinion	0	0 ~ 358
切り替えレベル	カメラをモノクロ動作に切り替えるオートレベルを調整します。	Dinion 2X、Dinion^{XF} LTC 0495、LTC 0610、FlexiDome 495、FlexiDome 2X、UnityDome DN VG4-162 および VG4-164、DN VG4-152 および VG4-154	0	- 15 ~ 15
Sync In (同期入力)	画像情報を正しい位置で構成できるように、映像信号に挿入される電子パルス。	Dinion 2X、Dinion^{XF}、UPH シリーズ	高	高、75Ω
同期モード	カメラの同期方法を選択します。オプション : **Crystal (クロック)** : カメラを内部クロックに同期します (デフォルト)。 **ラインロック** : カメラを AC 電源に同期し、マルチカメラシステムで画像のぶれが発生しないようにします。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ、Dinion^{XF}、Dinion、FlexiDome、Unity	内部	ラインロック、クロック - I、内部同期、ジェンロック *
同期	カメラの同期方法を選択します。	Dinion 2X、Dinion^{XF}、Dinion、FlexiDome、Unity	0	ラインロック、内部、ジェンロック、HV ロック *
ティッカーバー	ティッカーバーは継続的に動いており、画像がライブであり、フリーズされていないこと、あるいは再生されていることを示します。	Dinion 2X、FlexiDome 2X	オフ	オン、オフ

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
上側チルトの制限	カメラを上にチルトするときの制限を設定します。	VG4 シリーズ、VEZ シリーズ		選択されたシーン
タイトル	ドームがシーンに移動したときに表示される、16 文字のシーン名です (有効または無効の指定は [タイトル OSD] で設定する必要があります)。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ	(空白フィールド)	(空白フィールド)
タイトル OSD	カメラが画面上にセクターとシーンのタイトルを表示する方式を制御します。 オプション : **オフ** : 画面上にタイトルが表示されません。 **オン** : 画面上に常にタイトルが表示されます。 **一時的** : 画面上にタイトルが数秒間表示され、その後非表示になります (デフォルト)。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	一時的	オン、オフ、一時的
ツアー期間	ドームが次のシーンに移るまでの待機時間を制御します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	5 秒	3 秒 ~ 10 分
トラック	アラームがアクティブになった時点でトラッカーを有効にするアラーム入力オプションです。	G3A シリーズ、ENV シリーズ	オフ	オン、オフ
トラッカー	自動動体追跡システムです。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 500 シリーズ	オフ	オン、オフ
Tracker Communication (トラッカー通信)	カメラとトラッカーモジュールの間で通信を有効または無効にします。	G3A シリーズ、ENV シリーズ	オン	オン、オフ
Tracker Period (トラッカー期間)	トラッカーをアクティブにする時間を制御します。 **Follow Input (入力を優先)** : トラッカーは、アラーム入力がアクティブになっていた時間と同じ時間だけアクティブになります。 **ラッチ** : オペレーターがクリアするまで、トラッカーはオンのままになります。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、	Follow Input (入力を優先)	Follow Input (入力を優先)、 1 秒 ~ 10 分、 ラッチ
伝送	ヘッド側の機器に Bilinx アラームメッセージを転送できるようにするアラーム入力オプション。	G3A シリーズ、ENV シリーズ	オフ	オン、オフ
トリガー	アラーム出力を制御するために入力を選択するアラーム出力オプション。	G3A シリーズ、ENV シリーズ	(選択なし)	入力 1、入力 2、入力 3、入力 4

機能	説明	デバイス	デフォルト	オプション
Vertical Phase（垂直フェーズ）	垂直フェーズオフセットを調整します。	Dinion 2X、Dinion^{XF}、FlexiDome、FlexiDome 2X、Unity	0	0 ~ 358
VMD（Video Motion Detection）Mode（映像動体検出（VMD）モード）	現在の画像と参照画像を比較して、2 つの画像の間で変化した部分のピクセル数をカウントします。ピクセル数の変化がユーザー定義のしきい値を超えると、アラームが生成されます。	Dinion 2X、Dinion^{XF} Dinion、FlexiDome 2X、UPH シリーズ	オフ	オン、オフ、サイレント、OSD
VMD Area（VMD 領域）	現在の領域は、左上の角が点滅した状態で表示されます。画像の点滅している角は、上下左右の矢印キーを使用して移動することができます。[選択] キーを押すと、点滅しているカーソルが反対側の角に移動します（この時点で、この角は移動可能になります）。[選択] をもう一度押すと、この領域がフリーズされ、領域メニューが閉じます。	Dinion 2X、FlexiDome 2X		
ホワイトバランス	画像の白い部分の画質を維持するためのカラー設定を調整します。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ、VEZ シリーズ	オート	ATW、屋内、屋外、AWB ホールド、拡張、マニュアル
		Unity、Dinion 2X、Dinion、FlexiDome 2X、UPH シリーズ	ATW	ATW、AWB ホールド、マニュアル *
White Balance Speed（ホワイトバランス速度）	ホワイトバランス制御ループの速度を調整します。	Dinion 2X、FlexiDome 2X、UPH シリーズ	中速度	高速度、中速度、低速度
ワイドダイナミックレンジ	ワイドダイナミックレンジ機能のオン / オフを切り替えます。	VG4 300 および 500 シリーズ	オフ	オン、オフ
XF ダイナミック	シーンの明るい部分と暗い部分の細部を最適化して同時に撮影し、画像の可視性を最大限に高めます。	Dinion^{XF}、Unity、UPH シリーズ	中速度	オフ、低速度、中速度、高速度
ズーム極性	コントローラーのズームボタンの動作を逆にします。	G3A シリーズ、ENV シリーズ、VG4 シリーズ	通常	通常、逆

* モデルまたはオプション、あるいはその両方は、製品によって異なります。

7 トラブルシューティング

このセクションでは、CTFID アプリケーションが正常に機能していることを確認する方法について詳細に説明します。

7.1 PC とデバイスを結ぶシステム接続の確認

設定ソフトウェアを起動すると、アプリケーションは、接続されたデバイスを自動的に検出して、そのデバイスに接続します。 **[オンライン設定]** ボタンは、接続されたデバイスが検出されると有効になります。このデバイスの設定は、アプリケーションにダウンロードする必要があります。

デバイスが PC 上のアプリケーションに接続されていることを確認する場合：

1. **オンライン**モードになっていることを確認します（**[Online Configuration（オンライン設定）]** ボタンは背景が黄色になっている必要があります）。
2. 接続ステータスインジケーターアイコン（**システムフィードバック**領域に表示されます）を参照して、接続が確立されたことを確認します。

アプリケーションが、接続されたデバイスを検出しない場合：

1. デバイスが正常に動作しているかどうかを確認します。
2. Configuration Tool ハードウェアと PC の間、Configuration Tool ハードウェアとデバイスの間で、ケーブルが適切に接続されていることを確認します。
3. Configuration Tool ハードウェアで、緑色の LED が点灯していることを確認します
4. 必要に応じて、Configuration Tool ハードウェアを PC から切断して、もう一度接続します。
5. **システムフィードバック**セクションの**ステータス**テキストボックスを確認します（メイン画面の下部にあるテキストボックス）。アプリケーションがデバイスに接続されている場合は、ダウンロードの確認メッセージが表示されます。

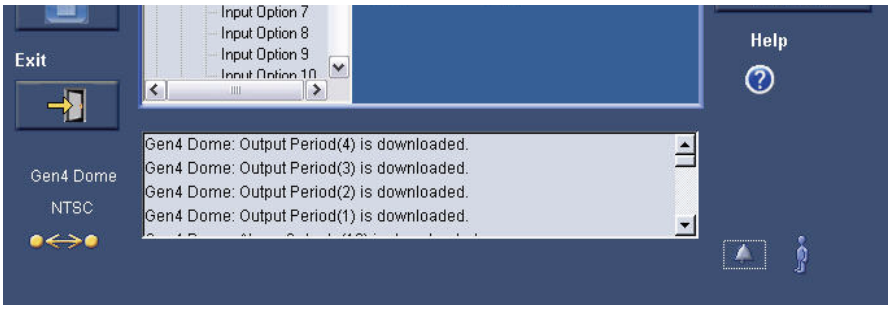


図 7.1 オンライン設定ウィンドウ、ステータステキストボックス

7.2 デバイスエラー

別のデバイスに対して設定されたファイルを開こうとすると、警告メッセージが表示されます。**[OK]** をクリックして、適切に設定されたファイルを開きます。

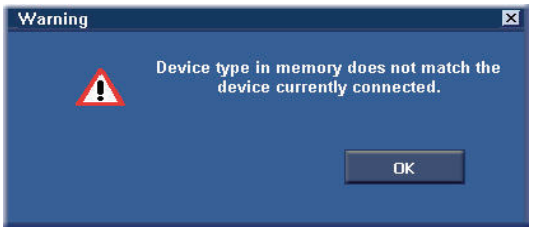


図 7.2 デバイスの種類のエラー

7.3 バージョンの確認

1. CTFID ソフトウェアのバージョンは、CTFID アプリケーション内で、一番上の左側にあるアイコンをクリックして確認できます。

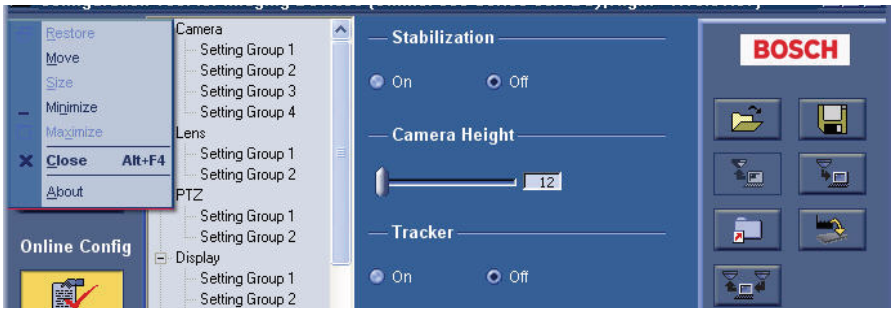


図 7.3 CTFID アイコン

2. 下にスクロールして **[バージョン情報]** をクリックします。
たとえば、現在のバージョンの CTFID が 3.01.00.01 である場合、**[バージョン情報]** の画面には 「3.01」と表示されます。

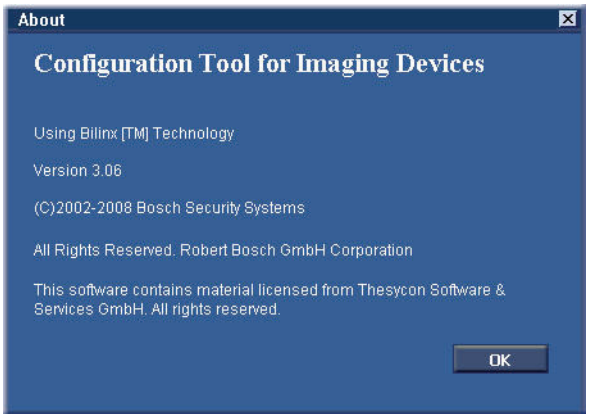


図 7.4 [バージョン情報] 画面

8 AUX キーボードコマンド

ロック済み	ファンクションキー	コマンド番号	コマンド	説明	200 シリーズ	300 シリーズ	500i シリーズ	G3A ENV
	オン / オフ	1	360° スキャン	リミットなしでオートパンします	•	•	•	•
	オン / オフ	2	オートパン	リミットの範囲でオートパンします	•	•	•	•
•	オン / オフ	3	アイリス調整	メニューに入ります（オート、マニュアル）	•	•	•	•
•	オン / オフ	4	フォーカス制御	メニューに入ります（スポット、オート、マニュアル）	•	•	•	•
	オン / オフ	7	カスタム登録ポジションツアーの再生	有効化 / 無効化		•	•	
	オン / オフ	8	登録ポジションツアーの再生	有効化 / 無効化	•	•	•	•
•	オン / オフ	9	未動作モード	メニューに入ります（[オフ]、[Return to Scene 1（シーン 1 に戻る）]、[Recall Previous PTZ Command（前の PTZ コマンドを呼び出す）] ）	•	•	•	•
•	オン / オフ	11	オートアイリスレベルの調整	[Iris Level Adjustment（アイリスレベルの調整）] メニューに入ります	•	•	•	•
	オン / オフ	14	オートパンとスキャンの速度設定	オン - 速くします オフ - 遅くするか、スライドバーを調整します	•	•	•	•
	オン / オフ	15	登録ポジションツアー時間（継続）の設定	オン - 継続時間を延長します オフ - 継続時間を短縮します	•	•	•	•
•	オン / オフ	18	オートピボットの有効化	オートピボットを有効 / 無効にします	•	•	•	•
	オン / オフ	20	逆行補正	逆光補正	•	•	•	•
•	オン / オフ	23	電子シャッター	[シャッター速度] メニューに入ります	•	•	•	•
	オン / オフ	24	スタビライゼーション	電子スタビライゼーション			•	•
•	オン / オフ	35	ホワイトバランスモード	[ホワイトバランス] メニューに入ります	•	•	•	•
•	オン	40	カメラ設定の復元	すべての設定を元のデフォルトに復元します	•	•	•	•
•	オン / オフ	41	ラインロックフェーズの調整	オン - ラインロック遅延を延長します オフ - ラインロック遅延を短縮します	•	•	•	•

ロック済み	ファンクションキー	コマンド番号	コマンド	説明	200 シリーズ	300 シリーズ	500i シリーズ	G3A ENV
•	オン / オフ	42	同期モード	オン - ラインロック オフ - 内部	•	•	•	•
•	オン / オフ	43	オートゲイン調整	AGC - オン、オート、オフ	•	•	•	•
•	オン / オフ	44	シャープネス	[シャープネス] メニューに入ります	•	•	•	•
•	オン	46	詳細設定メニュー	メインのセットアップメニューに入ります	•	•	•	•
	オン	47	初期設定の表示	すべてのメニューのデフォルト設定を表示します	•	•	•	•
	オン / オフ	50	A の連続再生	有効化 / 無効化		•	•	•
	オン / オフ	51	A の 1 回再生	有効化 / 無効化		•	•	•
	オン / オフ	52	B の連続再生	有効化 / 無効化		•	•	•
	オン / オフ	53	B の 1 回再生	有効化 / 無効化		•	•	•
	オン / オフ	56	[ナイトモード] メニュー	オン、オフ、オート（デイ / ナイトのみ）	•	•	•	•
	オン / オフ	57	ナイトモード設定	オン、オフ、オート（デイ / ナイトのみ）	•	•	•	•
•	オン / オフ	58	デイ / ナイトのしきい値	オン - メニュー（デイ / ナイトのみ）	•	•	•	•
•	オン / オフ	60	オンスクリーンディスプレイ	オン - 有効 オフ - 無効	•	•	•	•
•	オン	61	ディスプレイ調整	オンスクリーンディスプレイを調整します	•	•	•	•
	オン	62	[Pre-position Title（登録ポジションタイトル）] メニュー	[Pre-position Title（登録ポジションタイトル）] メニューに入ります	•	•	•	•
•	オン	63	[Zone Title（ゾーンタイトル）] メニュー	[Zone Title（ゾーンタイトル）] メニューに入ります	•	•	•	•
	オン	64	アラームステータス	[アラームステータス] メニューに入ります。		•	•	•
	オフ	65	アラームの確認	アラームを確認したり、物理出力を無効にしたりします		•	•	•
	オン	66	ソフトウェアのバージョン表示	ソフトウェアのバージョン番号を表示します	•	•	•	•
	オン	72	カメラの再初期化	カメラ / レンズの再初期化機能を実行します	•	•	•	•
	オン / オフ	78	AutoTrack	AutoTrack のオン / オフを切り替えます			•	•

ロック済み	ファンクションキー	コマンド番号	コマンド	説明	200 シリーズ	300 シリーズ	500i シリーズ	G3A ENV
•	オン	79	カメラの高さ	[カメラの高さ] メニューに入ります			•	•
•	オン / オフ	80	デジタルズームのロック	デジタルズームのオン / オフを切り替えます		•	•	•
	オン / オフ	81	リレー出力 1	オン - 出力を有効にします オフ - 出力を無効にします		•	•	
	オン / オフ	82	リレー出力 2	オン - 出力を有効にします オフ - 出力を無効にします		•	•	
	オン / オフ	83	リレー出力 3	オン - 出力を有効にします オフ - 出力を無効にします		•	•	
	オン / オフ	84	リレー出力 4	オン - 出力を有効にします オフ - 出力を無効にします		•	•	
•	オン / オフ	86	セクターブランク	[セクターブランク] メニューに入ります		•	•	•
•	オン / オフ	87	プライバシーマスク	[プライバシーマスク] メニューに入ります		•	•	•
	オン / オフ	90	コマンドのロック / ロック解除	オン - ロックオン オフ - ロックオフ	•	•	•	•
•	オン / オフ	91	[Lens Polarity（レンズ極性）] メニュー	オン - 反転 オフ - 通常	•	•	•	•
•	オン / オフ	92	[Lens Polarity（レンズ極性）] メニュー	オン - 反転 オフ - 通常	•	•	•	•
•	オン / オフ	93	[Lens Polarity（レンズ極性）] メニュー	オン - 反転 オフ - 通常	•	•	•	•
	オン / オフ	100	録画 A	有効化 / 無効化		•	•	•
	オン / オフ	101	録画 B	有効化 / 無効化		•	•	•
	オン	997	FastAddress、表示	現在のアドレスを表示します	•	•	•	•
	オン	998	FastAddress、すべての装置	現在のアドレスを表示してプログラミングします	•	•	•	•
	オン	999	FastAddress、アドレス未設定のドーム	アドレスが設定されていない AutoDome を表示してプログラミングします	•	•	•	•
	セット	1 ~ 99	登録ポジションのプログラミング	Set ##（セット ##）- プリセット表示をプログラミングします	1 ~ 64	•	•	•
	ショット	1 ~ 99	登録ポジションの呼び出し	Shot ##（ショット ##）- プログラミングしたプリセットを呼び出します	1 ~ 64	•	•	•
	セット	100	[登録ポジション] メニュー	[登録ポジション] メニューに入ります	•	•	•	•

ロック済み	ファンクションキー	コマンド番号	コマンド	説明	200 シリーズ	300 シリーズ	500i シリーズ	G3A ENV
	セット / ショット	101	オートパンの左リミット	セット - 左リミットをプログラミングします ショット - リミットを表示します	•	•	•	•
	セット / ショット	102	オートパンの右リミット	セット - 右リミットをプログラミングします ショット - リミットを表示します	•	•	•	•
	セット	110	工場出荷時のパン / チルトのホーム位置	セット - ホーム位置を再調整します	•	•	•	•
•	セット	802	パスワードの編集	[パスワードの編集] メニューに入ります		•	•	•
•	セット	899	すべてリセット	すべての設定を元のデフォルトに復元し、ユーザーがプログラミングしたすべての設定をクリアします	•	•	•	•
	セット	900	ツアー 1 の編集（標準）	[Standard Tour Scene（標準ツアーのシーン）] メニューに入ります		•	•	
	ショット	900	ツアー 2 の編集（カスタム）	[Custom Tour Scene（カスタムツアーのシーン）] メニューに入ります	•	•	•	•
	セット / ショット	901 ~ 999	ツアー 1 に対して登録ポジションのショットを追加 / 削除します	Set ###（セット ###）- プリセットを追加します Shot ###（ショット ###）- プリセットを削除します	901 ~ 964	•	•	•

コマンド番号	説明
142	画面の VLH デバッグ値
143	画面の WBH デバッグ値
144	画面の VLH/WBH デバッグ値
145	カラーチャート
146	ホワイトバランスピクセル

注 FlexiDome および Unity Dome の両シリーズに対しては **[AUX]** ボタンがアクティブになりますが、その他のコマンドは利用できません。

Bosch Security Systems, Inc.

www.boschsecurity.com
© Bosch Security Systems, Inc., 2010